SONY

4-169-917-**32** (1)

カムコーダーサポート
Camcorder Support
Support pour caméscope
Упор для видеокамеры
多功能摄像机支架

取扱説明書 /Operating Instructions/Mode d'emploi/
Bedienungsanleitung/Manual de instrucciones/
Gebruiksaanwijzing/Bruksanvisning/
Istruzioni per l'uso/Manual de instruções/
Инструкция по эксплуатации/使用説明書/使用说明书/
사용설명서/تعليمات التشغيل

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VCT-SP2BP

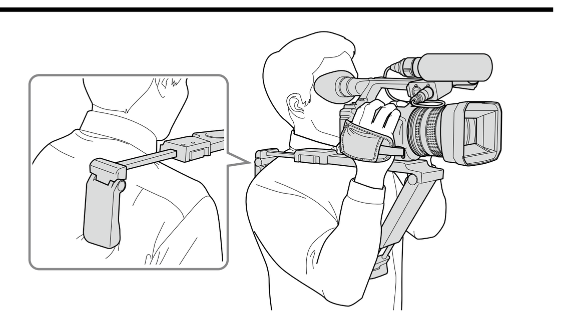
©2010 Sony Corporation Printed in China

http://www.sony.net/

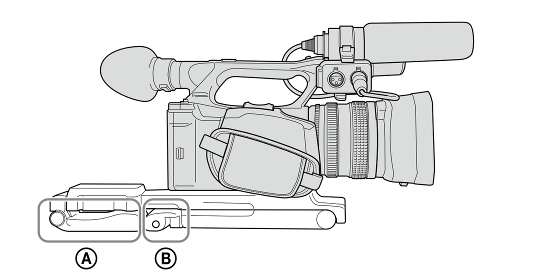
4169917320

A

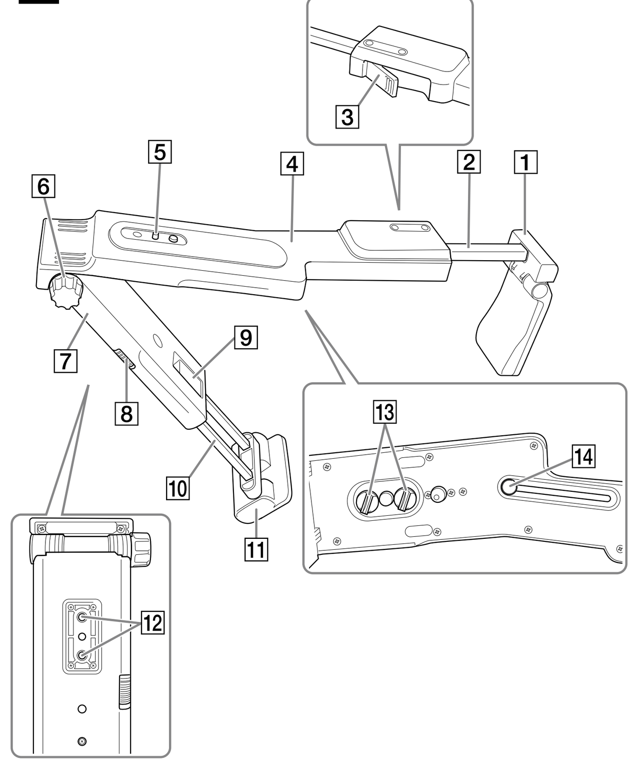
a



b

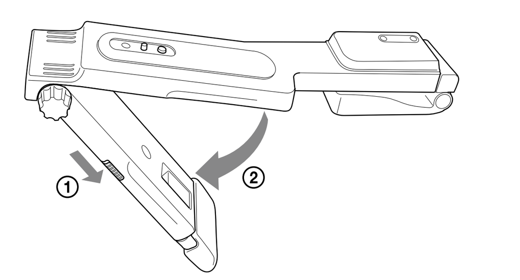


B

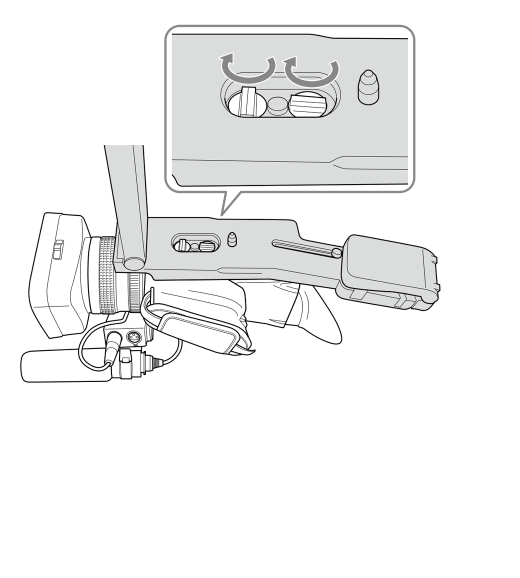


C

1

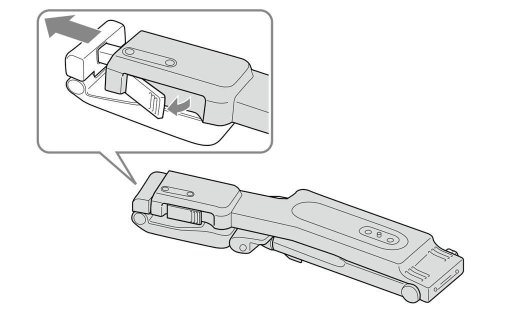


2, 3

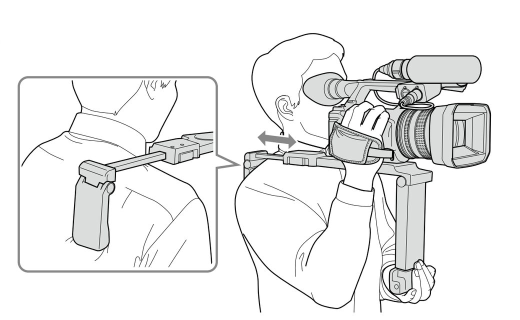


D

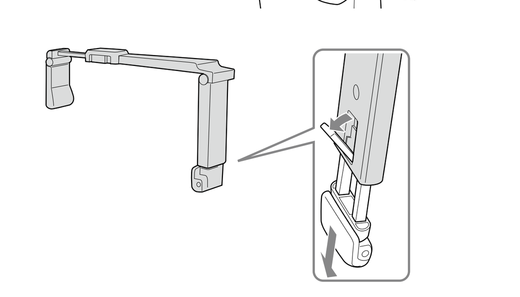
1



2, 3

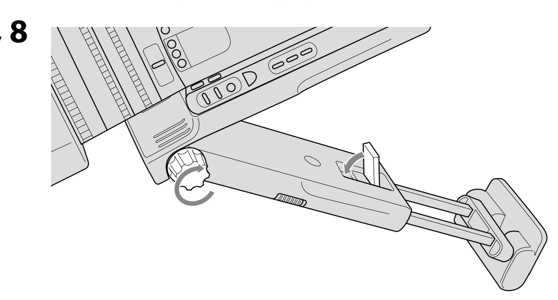


4



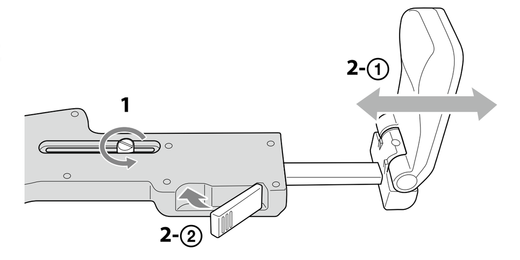
5, 6

7, 8

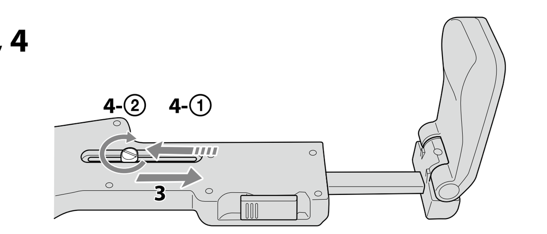


E

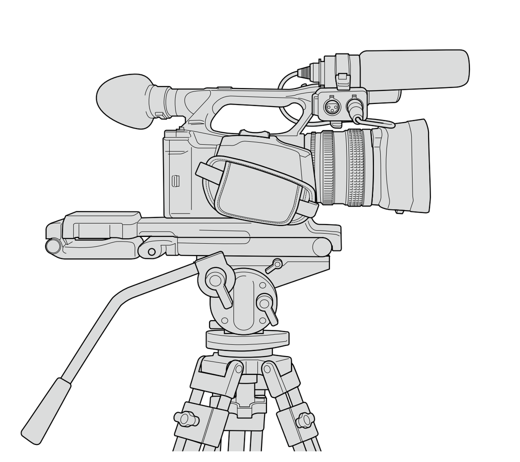
1, 2



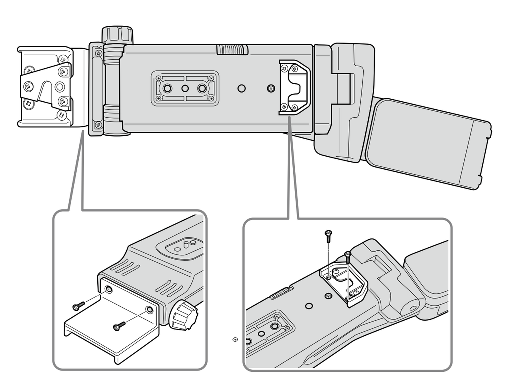
3, 4



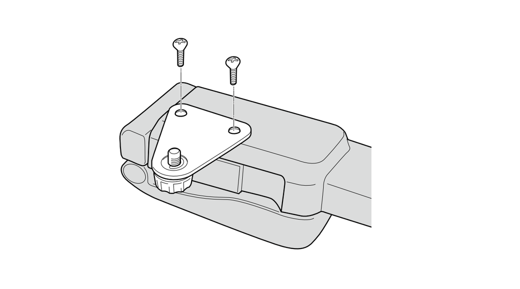
F



G



H



日本語

VCT-SP2BPはソニーのデジタルHDビデオカメラレコーダー専用のカムコーダーサポート(以下、本機とする)です。
ご使用の前にこの取扱説明書をお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
* 対象のビデオカメラはすべての国/地域で取り扱いしているわけではありません。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
  お買い上げ店、またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意 **この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

注意を促す記号	行為を禁止する記号
指挟み	禁止

⚠注意 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。**

肩掛けパッド、チェストパッドおよび、本体ケースS、本体ケースCの開閉時は充分注意をはらう
指をはさまないようご注意ください。 (指挟み)

カメラをつけたまま本機を持たない
ビデオカメラが落下し、破損したり、けがの原因となる恐れがあります。 (禁止)

使用上のご注意 A
- 本機を調整する際は、肩掛けパッドを肩と背中にしっかり当てた状態で、ファインダーと液晶画面を見やすい角度に調節してください。(イラストA-a)
  肩掛けパッドが浮いた状態では重量負荷がサポートされません。
- 本機を取り付けた状態でカメラを置く際は、イラストのⒶとⒷが図のようにたたまれていることと、折り重なっていないことを確認してください。(イラストA-b)
- 本機をご使用になる際は、チェストパッドの広い部分を胸に平面に当てて、胸への重量負荷を分散させてください。

主な特長
- ビデオカメラの重量を肩、背中と胸に分散することで、撮影時の重量負荷をサポートします。
- 本機を調節することで撮影時の視点を最適な位置に保ち、また手ブレも軽減します。
- 本機をビデオカメラに装着したままで三脚が使用できます。

各部のなまえ B
1 肩掛けパッド
2 アームS
3 ロックレバーS
4 本体ケースS
5 ビデオボス
6 フリクションコントロールダイヤル
7 本体ケースC
8 RELEASEスライダー
9 ロックレバーC
10 アームC
11 チェストパッド
12 三脚ネジ穴
13 カメラ取り付けネジ
14 プリセットネジ

カメラに取り付ける C
1 **RELEASEスライダーを矢印側へスライドさせてロックを解除し、本体ケースCを起こす。**
2 **ビデオボスをビデオカメラのボス穴に合わせる。**
3 **ビデオカメラの三脚用ネジ穴に本機のカメラ取り付けネジを合わせて固定する。**
- 本機のカメラ取り付けネジはコインスクリューです。手で軽く締めて位置を合わせてからコインなどでしっかり締めてください。

本機を使って撮影する

撮影位置の調節 D
1 **ロックレバーSを解除してアームSを引き出す。**
2 **肩掛けパッドを開いて肩の裏側に当てる。**
3 **ビデオカメラを撮影する位置に固定し、アームSの長さを調節して撮影したい位置を決め、ロックレバーSを固定する。**

ご注意
- アームSが肩に、肩掛けパッドが背中側にしっかり当たっていることを確認してください。
- 実際にファインダーや液晶画面を見ながら確認してください。
- 本機をビデオカメラに取り付ける際の位置や高さは調整できません。ご使用になるビデオカメラによっては、ファインダーと目線の高さが合わせにくい場合があります。

4 **ロックレバーCを解除してアームCを引き出す。**
5 **チェストパッドを傾けて、広い面を体の前面にあてる。**
6 **ビデオカメラが水平になるようにアームCの長さと本体ケースCの角度を調節する。**
7 **ロックレバーCを固定する。**
8 **フリクションコントロールダイヤルをケースCがずり落ちない程度に時計回りに回転させて締める。**
- 重量サポートがうまく得られない際は、アームSの長さと角度を調節し直してください。
- 撮影時にパン/チルトしにくいときは、フリクションコントロールダイヤルを緩めてケースCを手前にはずしてください。

ご注意
- フリクションコントロールダイヤルは本体ケースS/Cの開閉時の緩みを調節します。フリクションコントロールダイヤルを締めても本体ケースCの開閉角度は完全には固定できません。

プリセット位置の調節 E
撮影の準備が素早くできるよう、本機では下記の手順でアームSのプリセット位置(最大引き出し位置)を変更できます。
1 **本体ケースS裏面にあるプリセットネジを緩める。**
2 **アームSをプリセットにしたい長さに調節して固定する。**
3 **プリセットネジをMAX側へスライドさせる。**
4 **プリセットネジをMIN側へスライドさせて、動かなくなるまで押しつけた位置で固定する。**

ご注意
- 平らな場所に本体を置いて調節してください。本機が斜めになっている状態では、プリセット位置の調節がうまくいかない場合があります。
- アームSを引き出した長さによってはプリセット位置の設定ができない場合があります。

三脚に取り付けて撮影する F
1 **本体ケースCと肩掛けパッド、チェストパッドをたたむ。**
- チェストパッドや肩掛けパッドが本体ケースと重なっていると、三脚に取り付けた際にビデオカメラが雲台に対して水平になりません。

2 **本機のボス穴と三脚のビデオボスと合わせて取り付ける。**
- 詳しくは三脚の取扱説明書をご覧ください。

VCT-U14 への取り付け G
付属のアダプター U14 Aとアダプター U14 Bを付けることで、三脚アダプター VCT-U14へ取り付けられます。
図のように本機の底面へネジで固定してください。
- VCT-U14以外の三脚アダプターに取り付ける際は、アダプター U14 Aとアダプター U14 Bを取りはずしてください。

本機に別のアクセサリーを取り付ける H
付属のアクセサリープレートを取り付けると、本機にハードディスクレコーディングユニット(HVR-DR60)などを装着できます。
図のように本体ケースSへアクセサリープレートをネジで固定してください。

収納する
本機をビデオカメラからはずし、本体ケースとアーム、パッドをたたんだ状態で専用ポーチに収納してください。
- ソフトキャリングケース(LCS-G1BP)には、ビデオカメラに本機を取り付けたままで収納できます。

ご注意
- 収納する際、チェストパッドと肩掛けパッドが図のようにたたまれていることを確認してください。(イラストA-b)
- アームS、アームCを伸ばしていた場合はアームを縮めてから、専用ポーチに収納してください。

主な仕様

最大外形寸法	約359 × 52 × 134 mm(幅/高さ/奥行き)
質量	約840 g
積載ビデオカメラおよび装着品の総重量	4 kg以下
同梱物	カムコーダーサポートVCT-SP2BP(1)、専用ポーチ(1)、アクセサリープレート(1)、アダプター U14 A(1)、アダプター U14 B(1)、ネジ(6)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- 型名:VCT-SP2BP
- 故障の状態:できるだけ詳しく
- お買い上げ日

保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではカムコーダーサポートの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

よくあるお問い合わせ、窓口業務などはホームページをご利用ください。
http://www.sony.jp/professional/support/

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ·························· **0120-788-333**
携帯電話・PHS・一部のIP電話など
フリーダイヤルがご利用になれない場合 ······· **050-3754-9550**
FAX **0120-884-707**
受付時間 9:00~18:00(土・日・祝日、および休業日は除く)

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Notice for the customers in the countries applying EU Directives
Manufacturer: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan
For EU product compliance: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, Belgium

The VCT-SP2BP is a camcorder support designed specially for use with Sony Digital HD Video Recorders. (Referred to below as "this unit")
Please read these operating instructions before use. After reading, keep them carefully for future reference.
* This unit may not be compatible with all video cameras in your country or region.

Caution
- Be very careful when opening and closing the shoulder pad, chest pad, casing S and casing C. There is a risk of catching your fingers.
- Do not hold this unit when the video camera is attached. The video camera may fall, leading to damage or injury.

Notes on Use A
- To adjust this unit, place the shoulder pad firmly against your shoulder and back and alter the angle until the viewfinder and LCD screen are easy to see. (Illustration **A-a**)
  The weight load is not supported if the shoulder pad is in the air.
- When carrying the video camera while attached to this unit, make sure this unit is folded up correctly without overlapping as shown in illustrations Ⓐ and Ⓑ. (Illustration **A-b**)
- When using this unit, hold the wide part of the chest pad flat against your chest so that the weight load is spread across your chest.

Main Features
- Supports the video camera during shooting by spreading the weight load across your shoulder, back and chest.
- Adjusting this unit keeps the video camera in the optimum viewpoint for shooting and reduces camera shake.
- The video camera can still be fitted to a tripod with this unit attached.

Names of Parts B
1 **Shoulder pad**
2 **Arm S**
3 **Locking lever S**
4 **Casing S**
5 **Pin**
6 **Friction control dial**
7 **Casing C**
8 **RELEASE slider**
9 **Locking lever C**
10 **Arm C**
11 **Chest pad**
12 **Tripod screw hole**
13 **Camera mounting screw**
14 **Preset screw**

Attaching the Video Camera C
1 **Slide the RELEASE slider in the direction of the arrow to unlock this unit and open casing C.**
2 **Align the pin of this unit with the pin hole of the video camera.**
3 **Align the camera mounting screw of this unit with the tripod screw hole of the video camera and tighten it.**
- The camera mounting screw of this unit is a coin screw. Tighten by hand and align the video camera before tightening with a coin.

Using this unit to shoot

Adjust the shooting position D
1 **Release locking lever S and pull out arm S.**
2 **Open the shoulder pad and place it against the back of your shoulder.**
3 **Fix the shooting position of the video camera and adjust arm S to the desired length. Then, tighten locking lever S.**

Notes
- Make sure arm S is placed firmly on your shoulder and the shoulder pad against your back.
- Check while actually looking at the viewfinder and LCD screen.
- You cannot adjust the position or height of this unit while it is attached to the video camera. With some video cameras, the height of the viewfinder may be difficult to align with your eye line.

4 **Release locking lever C and pull out arm C.**
5 **Tilt the chest pad and place the wide part against the front of your body.**
6 **Adjust the length of arm C and the angle of casing C so that the video camera is horizontal.**
7 **Tighten locking lever C.**
8 **Tighten the friction control dial by turning it clockwise so that casing C does not fall.**
- If the weight is not properly supported, readjust the length and angle of arm S.
- If panning and tilting during shooting is difficult, loosen the friction control dial and move casing C forward.

Notes
- The friction control dial adjusts the looseness when opening and closing casing S and casing C. Even if you tighten the friction control dial, you cannot completely fix the opening-closing angle of casing C.

Adjusting the preset position E
To maintain readiness for shooting, you can change the preset position (the maximum withdrawn position) of arm S according to the following steps.
1 **Loosen the preset screw on the rear of casing S.**
2 **Adjust and hold arm S at the desired preset length.**
3 **Slide the preset screw towards "MAX."**
4 **Press and slide the preset screw towards "MIN" until it stops, and then tighten it.**

Notes
- Place this unit on a flat surface to adjust it. It may be difficult to adjust the preset position properly if this unit is not level.
- You may be unable to set the preset position depending on the withdrawn length of arm S.

Attaching to a tripod and shooting F
1 **Fold up casing C, the shoulder pad and the chest pad.**
- If the chest pad and shoulder pad overlap with the casing, the video camera can not sit level on the camera platform of the tripod.

2 **Align the pin hole of this unit with the pin of the tripod.**
- For details, refer to the operation instructions of the tripod.

Attaching to the VCT-U14 G
Fitting the provided U14A and U14B adaptors lets you attach this unit to a VCT-U14 tripod adaptor.
Screw the U14A and U14B adaptors to the bottom of this unit as illustrated.
- When attaching to a tripod adaptor other than the VCT-U14, remove the U14A and U14B adaptors.

Fitting accessories to this unit H
Fitting the provided accessory plate lets you mount an HVR-DR60 hard disc recording unit or other accessory to this unit.
Screw the accessory plate to casing S as illustrated.

Storing
Remove this unit from the video camera, fold up the casings, arms and pads and store in the special pouch.
- You can also store this unit attached to the video camera in a soft carrying case (LCS-G1BP).

Notes
- Make sure the chest pad and shoulder pad are folded up as illustrated before storing. (Illustration **A-b**)
- If arm S and arm C are extended, shorten them before storing in the special pouch.

Specifications

Maximum dimensions	Approx. 359 × 52 × 134 mm (14.1 × 2 × 5.3 in.) (w/h/d)
Mass	Approx. 840 g (29.6 oz.)
Total weight of video camera and accessories to be mounted	Max. 4 kg (8.82 lb)
Included items	Camcorder Support (VCT-SP2BP) (1), Special pouch (1), Accessory plate (1), U14A adaptor (1), U14B adaptor (1), Screws (6), Set of printed documentation

Design and specifications are subject to change without notice.

Français

Avis aux consommateurs des pays appliquant les Directives UE
Fabricant: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon
Pour toute question relative à la conformité des produits dans l'UE: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, Belgique

Le VCT-SP2BP est un support pour caméscope spécialement conçu pour les enregistreurs vidéo HD numériques Sony. (Désigné ci-dessous par le terme «cet appareil»)
Veuillez lire cette notice avant utilisation. Conservez-la ensuite en lieu sûr pour toute référence future.
* Cet appareil peut ne pas être compatible avec tous les caméscopes commercialisés dans votre pays ou région.

Attention
- Faites très attention lorsque vous ouvrez et fermez l'épaulière, le plastron, le boîtier S et le boîtier C. Il est possible de se coincer les doigts.
- Ne saisissez pas cet appareil quand le caméscope est fixé dessus. Le caméscope pourrait tomber et causer des dommages ou blessures.

Remarques sur l'emploi A
- Pour ajuster cet appareil, posez l'épaulière fermement contre votre épaule et votre dos et changez l'angle jusqu'à ce que le viseur et l'écran LCD soit bien visibles. (Illustration **A-a**)
  La charge pondérale n'est pas supportée si l'épaulière ne repose pas bien sur l'épaule et le dos.
- Lorsque vous transportez le caméscope avec cet appareil rattaché, veillez à plier correctement l'appareil de sorte qu'aucune partie ne dépasse, comme indiqué sur les illustrations Ⓐ et Ⓑ. (Illustration **A-b**)
- Lorsque vous utilisez cet appareil, tenez la partie la plus large de l'épaulière contre votre poitrine de sorte que la charge pondérale se répartisse sur votre poitrine.

Caractéristiques principales
- Supporte le caméscope pendant la prise de vue en répartissant la charge pondérale sur l'épaule, le dos et la poitrine.
- En ajustant cet appareil vous pourrez maintenir le point de vue optimal du caméscope et réduire le bougé du caméscope.
- Le caméscope peut être posé sur un trépied même lorsque cet appareil est rattaché.

Noms des éléments B
1 **Epaulière**
2 **Bras S**
3 **Levier de verrouillage S**
4 **Boîtier S**
5 **Onglet**
6 **Molette de réglage du frottement**
7 **Boîtier C**
8 **Curseur RELEASE**
9 **Levier de verrouillage C**
10 **Bras C**
11 **Plastron**
12 **Douille de trépied**
13 **Vis de montage de caméscope**
14 **Vis de préréglage**

Fixation du caméscope C
1 **Poussez le curseur RELEASE dans le sens de la flèche pour déverrouiller cet appareil et ouvrir le boîtier C.**
2 **Alignez l'onglet de cet appareil sur l'orifice d'onglet du caméscope.**
3 **Alignez la vis de montage de caméscope de cet appareil sur la douille de trépied du caméscope et serrez-la.**
- La vis de montage de caméscope de cet appareil se visse avec e (une) pièce de monnaie. Serrez la vis d'abord à la main et alignez bien le caméscope avant de serrer la vis avec une pièce.

Utilisation de cet appareil pour la prise de vue

Ajustez la position de prise de vue D
1 **Libérez le levier de verrouillage S et tirez le bras S.**
2 **Ouvrez l'épaulière et placez-la contre l'arrière de votre épaule.**
3 **Fixez la position de prise de vue du caméscope et ajustez le bras S à la longueur souhaitée. Serrez ensuite le levier de verrouillage S.**

Remarques
- Assurez-vous que le bras S s'appuie fermement sur votre épaule et que l'épaulière est contre votre dos.
- Faites ces vérifications tout en regardant dans le viseur et l'écran LCD.
- Vous ne pouvez pas ajuster la position ou la hauteur de cet appareil lorsqu'il est attaché au caméscope. Avec certains caméscopes, la hauteur du viseur peut être difficile à aligner sur la hauteur des yeux.

4 **Libérez le levier de verrouillage C et tirez le bras C.**
5 **Inclinez le plastron et appliquez la partie la plus large contre l'avant de votre corps.**
6 **Ajustez la longueur du bras C et l'angle du boîtier C de sorte que le caméscope soit à l'horizontale.**
7 **Serrez le levier de verrouillage C.**
8 **Serrez la molette de réglage du frottement en la tournant dans le sens horaire de sorte que le boîtier C ne tombe pas.**
- Si le poids n'est pas supporté correctement, réajustez la longueur et l'angle du bras S.
- Si les panoramiques horizontaux et verticaux sont difficiles pendant la prise de vue, desserrez la molette de réglage du frottement et poussez le boîtier C vers l'avant.

Remarques
- La molette de réglage du frottement permet d'ajuster la souplesse d'ouverture et de fermeture du boîtier S et du boîtier C. Même si la molette de réglage du frottement est serrée, il n'est pas possible de fixer complètement l'angle d'ouverture-fermeture du boîtier C.

Réglage de la position de préréglage E
Pour être toujours prêt à filmer, vous pouvez prérégler la position (la position d'étirement maximal) du bras S de la façon suivante.
1 **Desserrez la vis de préréglage à l'arrière du boîtier S.**
2 **Ajustez et maintenez le bras S à la longueur souhaitée.**
3 **Faites glisser la vis de préréglage vers « MAX ».**
4 **Appuyez sur et faites glisser la vis de préréglage vers « MIN » jusqu'à l' arrêt, puis serrez-la.**

Remarques
- Posez l'appareil sur une surface plane pour effectuer ce réglage. Il peut être difficile d'ajuster la position de préréglage correctement si l'appareil n'est pas de niveau.
- Il peut être impossible de régler la position de préréglage selon la longueur de déploiement du bras S.

Fixation à un trépied et prise de vue F
1 **Pliez le boîtier C, l'épaulière et le plastron.**
- Si le plastron et l'épaulière dépassent du boîtier, le caméscope ne pourra pas reposer correctement sur la plaque de caméscope du trépied.

2 **Alignez l'orifice d'onglet de cet appareil sur l'onglet du trépied.**
- Pour le détail, reportez-vous à la notice du trépied.

Fixation au VCT-U14 G
L'utilisation des adaptateurs U14A et U14B permet de fixer cet appareil à un adaptateur de trépied VCT-U14.
Vissez les adaptateurs U14A et U14B au dessous de cet appareil de la façon illustrée.
- Lorsque vous fixez cet appareil à un autre adaptateur de trépied que le VCT-U14, retirez les adaptateurs U14A et U14B.

Fixation d'accessoires à cet appareil H
La fixation de la plaque pour accessoire fournie permet de monter un enregistreur à disque dur HVR-DR60 ou un autre accessoire sur cet appareil.
Vissez la plaque pour accessoire au boîtier S de la façon illustrée.

Rangement
Détachez cet appareil du caméscope, repliez les boîtiers, bras, épaulière et plastron dans la pochette spéciale.
- Vous pouvez aussi ranger cet appareil rattaché au caméscope dans la malette souple (LCS-G1BP).

Remarques
- Assurez-vous que le plastron et l'épaulière sont repliés de la façon illustrée avant de ranger cet appareil. (Illustration **A-b**)
- Si le bras S et le bras C sont déployés, renfoncez-les avant de ranger l'appareil dans la pochette spéciale.

Spécifications

Dimensions maximales	Environ. 359 × 52 × 134 mm (14,1 × 2 × 5,3 po.) (l/h/p)
Poids	Environ 840 g (29,6 oz)
Poids total du caméscope avec les accessoires à monter	Max. 4 kg (8,82 lb)
Articles inclus	Support pour caméscope (VCT-SP2BP) (1), Pochette spéciale (1), Plaque pour accessoire (1), Adaptateur U14A (1), Adaptateur U14B (1), Vis (6), Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

Deutsch

Hinweis für Kunden in Ländern, in denen EU-Richtlinien gelten
Hersteller: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokio, 108-0075 Japan
Für EU Produktkonformität: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, Belgien

Das VCT-SP2BP ist ein spezielles Camcorder-Schulterstativsystem für Digital-HD-Camcorder von Sony. (Im Folgenden „dieses System" genannt)
Bitte lesen Sie diese Bedienungsanleitung vor Gebrauch genau durch. Bewahren Sie die Anleitung zum späteren Nachschlagen gut auf.
* Dieses System ist möglicherweise nicht mit allen in Ihrem Land bzw. Gebiet vertriebenen Camcordern kompatibel.

Vorsicht
- Seien Sie beim Aus- und Einklappen des Schulter- und Brustpolsters sowie der Gehäuse S und C besonders vorsichtig. Sie können sich dabei leicht die Finger einklemmen.
- Halten Sie zum Tragen des angebrachten Camcorders nicht dieses System. Der Camcorder könnte zu Fall kommen und einen Schaden erleiden oder eine Verletzung verursachen.

Hinweise zur Verwendung A
- Zur Einstellung dieses Systems legen Sie das Schulterpolster fest an die Schulter und den Rücken und verändern dann den Winkel, bis der Sucher und der LCD-Bildschirm gut ablesbar sind. (Abbildung **A-a**)
  Bei nicht fest anliegendem Schulterpolster wird die Last nicht abgestützt.
- Achten Sie beim Tragen des an diesem System angebrachten Camcorders darauf, dass das System ordnungsgemäß und ohne Überlappung zusammengelegt ist, wie in Abbildungen Ⓐ und Ⓑ dargestellt. (Abbildung **A-b**)
- Halten Sie bei Gebrauch dieses Systems die breite Fläche des Brustpolsters flach am Brustkorb, so dass die Last des Gewichts über den Brustkorb verteilt wird.

Hauptmerkmale
- Stützt den Camcorder bei der Aufnahme unter Verteilung der Gewichtsbelastung auf Schulter, Rücken und Brustkorb.
- Dieses System ist so einstellbar, dass der Camcorder stets im optimalen Betrachtungswinkel bleibt, und verringert gleichzeitig die Gefahr von Verwackeln.
- Der Camcorder kann auf ein Stativ montiert werden, während dieses System angebracht ist.

Bezeichnung der Teile B
1 **Schulterpolster**
2 **Arm S**
3 **Arretierhebel S**
4 **Gehäuse S**
5 **Führungsstift**
6 **Friktionsrad**
7 **Gehäuse C**
8 **RELEASE-Schieber**
9 **Arretierhebel C**
10 **Arm C**
11 **Brustpolster**
12 **Stativgewinde**
13 **Camcorder-Befestigungsschraube**
14 **Voreinstellschraube**

Anbringen des Camcorders C
1 **Schieben Sie den RELEASE-Schieber in Pfeilrichtung, um dieses System zu entriegeln und Gehäuse C auszuklappen.**
2 **Richten Sie den Führungsstift dieses Systems auf die Passbohrung am Camcorder aus.**
3 **Richten Sie die Camcorder-Befestigungsschraube dieses Systems auf das Stativgewinde am Camcorder aus und ziehen Sie sie an.**
- Die Camcorder-Befestigungsschraube dieses Systems kann mit einer Münze festgezogen werden. Ziehen Sie sie vor dem Festziehen mit einer Münze zunächst von Hand an und richten Sie den Camcorder aus.

Verwenden dieses Systems für Aufnahmen

Einstellen der Aufnahmeposition D
1 **Lösen Sie Arretierhebel S und ziehen Sie Arm S heraus.**
2 **Klappen Sie das Schulterpolster aus und legen Sie es hinten an Ihrer Schulter an.**
3 **Legen Sie die Aufnahmeposition der Videokamera fest und justieren Sie den Arm S auf die gewünschte Länge. Dann stellen Sie Arretierhebel S fest.**

Hinweise
- Achten Sie darauf, dass Arm S fest auf der Schulter und das Schulterpolster fest am Rücken anliegt.
- Kontrollieren Sie die Position, indem Sie auf den Sucher und den LCD-Bildschirm blicken.
- Sie können die Position oder Höhe dieses Systems nicht einstellen, während es am Camcorder angebracht ist. Bei manchen Camcordern ist die Höhe des Suchers unter Umständen nur schwer an die Augenhöhe anzupassen.

4 **Lösen Sie Arretierhebel C und ziehen Sie Arm C heraus.**
5 **Neigen Sie das Brustpolster und legen Sie die breite Fläche vorne an Ihren Körper an.**
6 **Stellen Sie die Länge von Arm C und den Winkel von Gehäuse C so ein, dass der Camcorder waagrecht steht.**
7 **Stellen Sie Arretierhebel C fest.**
8 **Ziehen Sie das Friktionsrad durch Drehen im Uhrzeigersinn fest an, damit Gehäuse C sich nicht absenkt.**
- Sollte das Gewicht nicht einwandfrei abgestützt werden, korrigieren Sie die Länge und den Winkel von Arm S.
- Wenn ein Schwenken und Neigen des Camcorders bei der Aufnahme schwierig ist, lösen Sie das Friktionsrad und bewegen Gehäuse C nach vorne.

Hinweise
- Das Friktionsrad beeinflusst den Widerstand beim Auf- und Zuklappen von Gehäuse S und Gehäuse C. Der Klappwinkel von Gehäuse C lässt sich auch durch Festziehen des Friktionsrads nicht fixieren.

Einrichten der Voreinstellposition E
Um immer schnell aufnahmebereit zu sein, können Sie eine Voreinstellposition (maximale Ausziehlänge) für Arm S festlegen, wie im Folgenden beschrieben.
1 **Lösen Sie die Voreinstellschraube an der Rückseite von Gehäuse S.**
2 **Ziehen Sie Arm S zur gewünschten Länge heraus und halten Sie ihn dort fest.**
3 **Schieben Sie die Voreinstellschraube in Richtung „MAX".**
4 **Drücken und schieben Sie die Voreinstellschraube in Richtung „MIN", und ziehen Sie sie dort wieder an.**

Hinweise
- Stellen Sie dieses System für die Einstellung auf eine ebene Fläche. Wenn dieses System nicht eben steht, kann die Einrichtung der Voreinstellposition schwierig sein.
- Je nach der Ausziehlänge von Arm S kann unter Umständen keine Voreinstellposition eingerichtet werden.

Anbringen an einem Stativ für Aufnahmen F
1 **Klappen Sie Gehäuse C, das Schulterpolster und das Brustpolster ein.**
- Wenn sich das Brust- bzw- Schulterpolster mit dem Gehäuse überlappt, kann der Camcorder nicht ebenerdig auf der Kameraplattform des Stativs stehen.

2 **Richten Sie die Passbohrung dieses Systems auf den Führungsstift des Stativs aus.**
- Einzelheiten dazu schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung des Stativs nach.

Anbringen am VCT-U14 G
Mit Hilfe der mitgelieferten Adapter U14A und U14B lässt sich dieses System am Stativadaptor VCT-U14 befestigen.
Schrauben Sie die Adapter U14A und U14B wie dargestellt am Boden dieses Systems fest.
- Zum Anbringen an einen anderen Stativadapter als Modell VCT-U14 entfernen Sie die Adapter U14A und U14B.

Anbringen von Zubehör an diesem System H
Durch Anbringen der mitgelieferten Zubehörplatte können Sie einen Festplattenrecorder HVR-DR60 oder ein anderes Zubehörgerät an diesem System befestigen.
Schrauben Sie die Zubehörplatte wie dargestellt an Gehäuse S fest.

Aufbewahrung
Nehmen Sie dieses System vom Camcorder ab, klappen Sie die Gehäuse, Arme und Polster ein, und bewahren Sie es in der Spezialtasche auf.
- Sie können dieses Gerät auch am Camcorder angebracht in einem weichen Transportbehälter (LCS-G1BP) aufbewahren.

Hinweise
- Vergewissern Sie sich vor der Aufbewahrung davon, dass das Brustpolster und das Schulterpolster wie dargestellt eingeklappt sind. (Abbildung **A-b**)
- Falls Arm S und Arm C ausgezogen sind, schieben Sie sie vor der Aufbewahrung in der Spezialtasche hinein.

Technische Daten

Max. Abmessungen	ca. 359 × 52 × 134 mm (B × H × T)
Gewicht	ca. 840 g
Gesamtgewicht des Camcorders und des anzubringenden Zubehörs	Max. 4 kg
Mitgeliefertes Zubehör	Camcorder-Schulterstativsystem (VCT-SP2BP) (1), Spezialtasche (1), Zubehörplatte (1), Adapter U14A (1), Adapter U14B (1), Schrauben (6), Anleitungen

Änderungen bei Design und technischen Daten bleiben ohne vorherige Ankündigung vorbehalten.

Español

Aviso para los clientes de países en los que se aplican las directivas de la UE
Fabricante: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japón
Para la conformidad del producto en la UE: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, Bélgica

El VCT-SP2BP es un soporte para videocámara diseñado especialmente para utilizarse con videograbadoras HD digitales Sony. (A partir de ahora "esta unidad")
Antes de utilizar esta unidad, lea este manual de instrucciones. Después de haberlo leído, guárdelo cuidadosamente para futuras referencias.
* Esta unidad puede no ser compatible con todas las videocámaras de su país o región.

Precaución
- Tenga mucho cuidado cuando abra y cierre la hombrera, el apoyo pectoral, la envoltura S, y la envoltura C. Existe el riesgo de que se pille los dedos.
- No sujete esta unidad cuando esté instalada la videocámara. La videocámara podría caerse y producir daños o lesiones.

Notas sobre la utilización A
- Para ajustar esta unidad, coloque la hombrera firmemente contra su hombro y espalda y cambie el ángulo hasta que el visor y la pantalla LCD puedan verse fácilmente. (Ilustración **A-a**)
  La carga de peso no se soportará si la hombrera queda al aire.
- Cuando transporte la videocámara mientras esté instalada en esta unidad, cerciórese de que esta unidad esté correctamente plegada sin superposición como se muestra en las ilustraciones Ⓐ y Ⓑ. (Ilustración **A-b**)
- Cuando utilice esta unidad, mantenga la parte ancha del apoyo pectoral plano de forma que la carga de peso se reparta a lo ancho de su pecho.

Características principales
- Soporta la videocámara durante la videofilmación repartiendo la carga de peso entre su hombro, espalda, y pecho.
- El ajuste de esta unidad mantiene la videocámara en el óptimo punto de vista para videofilmar y reduce las sacudidas de la cámara.
- La videocámara todavía podrá fijarse a un trípode con esta unidad instalada.

Nombres de las partes B
1 **Hombrera**
2 **Brazo S**
3 **Palanca de bloqueo S**
4 **Envoltura S**
5 **Pasador**
6 **Dial de control de fricción**
7 **Envoltura C**
8 **Mando deslizante RELEASE**
9 **Palanca de bloqueo C**
10 **Brazo C**
11 **Apoyo pectoral**
12 **Orificio roscado para trípode**
13 **Tornillo de montaje de cámara**
14 **Tornillo de preajuste**

Fijación de la videocámara C
1 **Deslice el mando deslizante RELEASE en el sentido de la flecha para desbloquear esta unidad y abra la envoltura C.**
2 **Alinee el pasador de esta unidad con el orificio para pasador de la videocámara.**
3 **Alinee el tornillo de montaje de cámara de esta unidad con el orificio roscado para trípode de la videocámara y apriételo.**
- El tornillo de montaje de cámara de esta unidad puede apretarse con una moneda. Apriete con la mano y alinee la videocámara antes de apretar con una moneda.

Utilización de esta unidad para videofilmar

Ajuste la posición de videofilmación D
1 **Suelte la palanca de bloqueo S y extraiga el brazo S.**
2 **Abra la hombrera y colóquela contra la parte posterior de su hombro.**
3 **Fije la posición de videofilmación de la videocámara y ajuste el brazo S a la longitud deseada. Después, apriete la palanca de bloqueo S.**

Notas
- Cerciórese de que el brazo S haya quedado firmemente colocado sobre su hombro y la hombrera contra su espalda.
- Compruebe observando visualmente a través del visor y la pantalla LCD.
- Usted no podrá ajustar la posición ni la altura de esta unidad mientras esté fijada a la videocámara. Con algunas videocámaras, la altura del visor puede dificultar la alineación con la línea de su ojo.

4 **Suelte la palanca de bloqueo C y extraiga el brazo C.**
5 **Incline el apoyo pectoral y coloque la parte ancha contra la parte frontal de su cuerpo.**
6 **Ajuste la longitud del brazo C y el ángulo de la envoltura C de forma que la videocámara quede horizontal.**
7 **Apriete la palanca de bloqueo C.**
8 **Apriete el dial de control de fricción girándolo hacia la derecha de forma que la envoltura C no se caiga.**
- Si el peso no está adecuadamente soportado, reajuste la longitud y el ángulo del brazo S.
- Si la panoramización horizontal o vertical durante la videofilmación es difícil, afloje el dial de control de fricción y mueva la envoltura C hacia adelante.

Notas
- El dial de control de fricción ajusta la holgura de apertura y cierre de la envoltura S y la envoltura C. Incluso aunque apriete el dial de control de fricción, no podrá fijar completamente el ángulo de apertura-cierre de la envoltura C.

Ajuste de la posición preajustada E
Para mantener la disponibilidad para videofilmar en cualquier momento, podrá cambiar la posición preajustada (la posición máxima de retracción) del brazo S de acuerdo con los pasos siguientes.
1 **Afloje el tornillo de preajuste de la parte posterior de la envoltura S.**
2 **Ajuste y mantenga el brazo S a la longitud preajustada deseada.**
3 **Deslice el tornillo de preajuste hacia "MAX".**
4 **Presione y deslice el tornillo de preajuste hacia "MIN" hasta que se pare, y después apriételo.**

Notas
- Coloque esta unidad sobre una superficie plana para realizar el ajuste. Es posible que sea difícil ajustar adecuadamente la posición preajustada si esta unidad no está nivelada.
- Dependiendo de la longitud de retracción del brazo S, es posible que no se pueda ajustar la posición preajustada.

Fijación a un trípode y videofilmación F
1 **Pliegue hacia arriba la envoltura C, la hombrera, y el apoyo pectoral.**
- Si el apoyo pectoral y la hombrera se superponen con la envoltura, la videocámara no podrá asentarse nivelada sobre la plataforma para cámara del trípode.

2 **Alinee el orificio para pasador de esta unidad con el pasador del trípode.**
- Con respecto a los detalles, consulte el manual de instrucciones del trípode.

Fijación al VCT-U14 G
La fijación de los adaptadores U14A y U14B suministrados le permitirá instalar esta unidad en un adaptador para trípode VCT-U14.
Atornille los adaptadores U14A y U14B en la parte inferior de esta unidad como se muestra en la ilustración.
- Cuando fije a un adaptador para trípode que no sea el VCT-U14, quite los adaptadores U14A y U14B.

Fijación de accesorios a esta unidad H
La fijación de la placa para accesorios suministrada le permitirá montar una unidad de grabación en disco duro HVR-DR60 u otro accesorio en esta unidad.
Atornille la placa para accesorios en la envoltura S como se muestra en la ilustración.

Almacenamiento
Quite esta unidad de la videocámara, pliegue las envolturas, los brazos, la hombrera, y el apoyo pectoral, y guárdela en la bolsa especial.
- También podrá guardar esta unidad fijada a la videocámara en una bolsa blanda (LCS-G1BP).

Notas
- Cerciórese de que el apoyo pectoral y la hombrera hayan quedado plegados como se muestra en la ilustración antes del almacenamiento. (Ilustración **A-b**)
- Si el brazo S y el brazo C están desplegados, acórtelos antes de. almacenamiento en la bolsa especial.

Especificaciones

Dimensiones máximas	Aprox. 359 × 52 × 134 mm (an/al/prf)
Peso	Aprox. 840 g
Peso total de la videocámara y los accesorios que pueden montarse	Máx. 4 kg
Elementos incluidos	Soporte para videocámara (VCT-SP2BP) (1), Bolsa especial (1), Placa para accesorios (1), Adaptador U14A (1), Adaptador U14B (1), Tornillos (6), Juego de documentación impresa

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

Nederlands

Kennisgeving voor klanten in de landen waar EU-richtlijnen van toepassing zijn
Producent: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan
Voor EU-product conformiteit: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, België

De VCT-SP2BP is een camcordersteun die speciaal is ontwikkeld voor Sony Digitale HD Videorecorders. (Hierna genoemd "dit toestel")
Lees de gebruiksaanwijzing voor gebruik. Bewaar ze zorgvuldig na het lezen voor toekomstige naslag.
* Dit toestel is mogelijk niet compatibel met alle videocamera's in uw land of regio.

Voorzichtig
- Wees zeer voorzichtig bij het openen en sluiten van het schouderdeel, borstdeel, behuizing S en behuizing C. Uw vingers kunnen klem raken.
- Houd dit toestel niet vast als de videocamera is bevestigd. De videocamera kan vallen wat leidt tot schade of letsel.

Opmerkingen bij gebruik A
- Voor het afstellen van dit toestel plaatst u het schouderdeel stevig tegen uw schouder en rug en verandert u de hoek tot de zoeker en het LCD-scherm goed te zien zijn. (afbeelding **A-a**)
  De gewichtslast wordt niet ondersteund als het schouderdeel in de lucht is.
- Wanneer u de videocamera draagt als deze aan dit toestel is bevestigd, dient u ervoor te zorgen dat dit toestel goed is gevouwen zonder dat er een overlapping is zoals afgebeeld in afbeeldingen Ⓐ en Ⓑ. (afbeelding **A-b**)
- Wanneer u dit toestel gebruikt, houd dan het brede gedeelte van het borstdeel vlak tegen uw borst zodat de gewichtslast over uw borst wordt verspreid.

Belangrijkste functies
- Ondersteunt de videocamera tijdens opnamen door de gewichtsbelasting over de schouders, rug en de borst te verdelen.
- Aanpassen van dit toestel houdt de videocamera in het optimale gezichtspunt voor opnamen en vermindert trillen van de camera.
- De videocamera kan nog steeds worden geplaatst op een statief als dit toestel is bevestigd.

Namen van onderdelen B
1 **Schouderdeel**
2 **Arm S**
3 **Vergrendelhendel S**
4 **Behuizing S**
5 **Pen**
6 **Frictie stuurknop**
7 **Behuizing C**
8 **RELEASE -schuif**
9 **Vergrendelhendel C**
10 **Arm C**
11 **Borstdeel**
12 **Schroefgat voor statief**
13 **Cameramontageschroef**
14 **Vooraf gestelde schroef**

De videocamera bevestigen C
1 **Schuif de RELEASE -schuif in de richting van de pijl om dit toestel te ontgrendelen en open behuizing C.**
2 **Lijn de pen van dit toestel uit met het pengat in de videocamera.**
3 **Lijn de cameramontageschroef van dit toestel uit met het schroefgat voor het statief van de videocamera en draai vast.**
- De cameramontageschroef van dit toestel is een muntschroef. Draai vast met de hand en lijn de videocamera uit voordat u deze vastdraait met een munt.

Dit toestel gebruiken voor opnamen

Stel de opnamepositie in D
1 **Ontgrendel de vergrendelhendel S en trek uit arm S.**
2 **Open het schouderdeel en plaats het tegen de achterkant van uw schouder.**
3 **Fixeer de opnamepositie van de videocamera en stel arm S op de gewenste lengte in. Maak vervolgens de vergrendelhendel S vast.**

Opmerkingen
- Zorg ervoor dat arm S stevig op uw schouder is geplaatst en dat het schouderdeel tegen uw rug ligt.
- Controleer door naar de zoeker en het LCD-scherm te kijken.
- U kunt de positie of hoogte van dit toestel niet afstellen als het is bevestigd aan de videocamera. Bij sommige camera's kan de hoogte van de zoeker moeilijk uitlijnbaar zijn met uw ooglijn.

4 **Ontgrendel de vergrendelhendel C en trek uit arm C.**
5 **Kantel het borsdeel en plaats het breedste deel tegen de voorkant van uw lichaam.**
6 **Stel de lengte af van arm C en de hoek van behuizing C zodat de videocamera horizontaal is.**
7 **Maak de vergrendelhendel C vast.**
8 **Draai de frictie stuurknop vast door deze naar rechts te draaien zodat behuizing C niet valt.**
- Indien het gewicht niet goed is ondersteund, dient u de lengte en de hoek aan te passen van arm S.
- Als beeldverschuiving en kantelen tijdens opnemen moeilijk is, maak dan de frictie stuurknop los en beweeg behuizing C naar voren.

Opmerkingen
- De frictie stuurknop past de losheid aan bij het openen en sluiten van behuizing S en behuizing C. Zelfs als u de frictie stuurknop vaster draait, dan kunt u niet volledig de opening-sluiting hoek van behuizing C regelen.

Afstellen van de vooraf ingestelde positie E
Om gereed te zijn voor opnamen kunt u de vooraf ingestelde positie (de maximale teruggetrokken stand) van arm S volgens de volgende stappen wijzigen.
1 **Maak de vooraf ingestelde schroef aan de achterkant van behuizing S los.**
2 **Zorg dat u arm S op de gewenste vooraf ingestelde lengte instelt en houdt.**
3 **Schuif de vooraf ingestelde schroef naar "MAX".**
4 **Schuif de vooraf ingestelde schroef naar "MIN" totdat deze stopt en draai hem dan vast.**

Opmerkingen
- Plaats het toestel op een vlakke ondergrond om hem af te stellen. Het kan moeilijk zijn om de vooraf ingestelde positie op de juiste wijze af te stellen als dit toestel niet vlak ligt.
- Het kan zijn dat u de vooraf ingestelde positie niet kunt afstellen afhankelijk van de uitgetrokken lengte van arm S.

Een statief bevestigen en opnamen maken F
1 **Vouw behuizing C, het schouderdeel en het borstdeel op.**
- Indien het borstdeel en het schouderdeel de behuizing overlappen, dan kan de videocamera niet vlak op het cameravlak van het statief staan.

2 **Lijn het pengat van dit toestel uit met de pen van het statief.**
- Nadere bijzonderheden vindt u in de gebruiksaanwijzing van het statief.

Bevestigen aan de VCT-U14 G
Door de meegeleverde U14A en U14B adapters te bevestigen kunt u dit toestel bevestigen aan een VCT-U14-statiefadapter.
Schroef de U14A en U14B adapters aan de onderkant van dit toestel zoals afgebeeld.
- Als u een andere statiefadapter bevestigt dan de VCT-U14, verwijder dan de U14A en U14B adapters.

Dit toestel uitrusten met accessoires H
Door de bijgeleverde accessoiresplaat te plaatsen, kunt u een HVR-DR60 -opnametoestel met harde schijf of een andere accessoires monteren op dit toestel.
Schroef de accessoiresplaat aan behuizing S zoals afgebeeld.

Opbergen
Verwijder dit toestel van de videocamera, vouw de behuizingen, armen en delen op en berg ze op in een speciale tas.
- U kunt dit toestel ook bevestigd aan de camera opbergen in een zacht draagtasje (LCS-G1BP).

Opmerkingen
- Zorg ervoor dat het borstdeel en het schouderdeel zoals afgebeeld zijn opgevouwen voordat u ze opbergt. (afbeelding **A-b**)
- Indien arm S en arm C zijn uitgetrokken, kort ze dan in voordat u ze opbergt in de speciale tas.

Technische gegevens

Maximale afmetingen	Ongeveer 359 × 52 × 134 mm (b / h / d)
Gewicht	Ongeveer 840 g
Totaal gewicht van videocamera en te monteren accessoires	Max. 4 kg
Bijgeleverde toebehoren	Camcordersteun (VCT-SP2BP) (1), Speciale tas (1), Accessoiresplaat (1), U14A adapter (1), U14B adapter (1), Schroeven (6), Handleiding en documentatie

Wijzigingen in ontwerp en technische gegevens voorbehouden, zonder kennisgeving.

Svenska

Anmärkning för kunder i de länder som följer EU-direktiv

Tillverkare: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan
För EU:s produktöverensstämmelse: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, Belgien

VCT-SP2BP är ett videokamerastöd utformat speciellt för användning med Sony digitala HD-videokameror. (Nedan kallad "denna enhet")
Var god läs bruksanvisningen före användning. Spara bruksanvisningen efter att ha läst den.
* Det är möjligt att denna enhet inte är kompatibel med alla videokameror i ditt land eller region.

Observera
- Var mycket försiktig när du öppnar och stänger axeldynan, bröstdynan, hölje S och hölje C. Det finns risk att fingrarna kläms.
- Håll inte denna enhet i handen när videokameran är monterad. Videokameran kan ramla av och skadas, eller så kan du skada dig själv.

Att tänka på vid användning A
- Justera denna enhet genom att placera axeldynan stadigt mot axeln och ryggen och reglera vinkeln tills det är lätt att se sökaren och LCD-skärmen. (Illustration A-a)
  Det blir inget stöd mot viktbelastningen om axeldynan inte ligger emot.
- När videokameran ska bäras medan den är monterad på denna enhet, kontrollera att denna enhet är korrekt hopfälld utan överlappande delar så som visas i illustration Ⓐ och Ⓑ. (Illustration A-b)
- När du använder denna enhet ska den breda delen av bröstdynan ligga platt mot bröstet så att viktbelastningen fördelas över bröstet.

Huvudegenskaper
- Stöder videokameran vid filmning genom att fördela viktbelastningen över axeln, ryggen och bröstet.
- Genom att justera denna enhet bibehålls kameran i ett läge som ger optimal sikt för filmning. Kameraskakningarna minskar också.
- Videokameran kan sättas på ett stativ även med denna enhet monterad.

Delarnas namn B
1 **Axeldyna**
2 **Arm S**
3 **Låsspak S**
4 **Hölje S**
5 **Stift**
6 **Reglerratt för motstånd**
7 **Hölje C**
8 **Skjutreglage RELEASE**
9 **Låsspak C**
10 **Arm C**
11 **Bröstdyna**
12 **Stativgänga**
13 **Kameramonteringsskruv**
14 **Ställskruv**

Montering av videokameran C
1. **Skjut skjutreglaget RELEASE i pilens riktning för att låsa upp denna enhet och öppna hölje C.**
2. **Rikta in stiftet på denna enhet mot stifthålet på videokameran.**
3. **Rikta in kameramonteringsskruven på denna enhet mot stativgängan på videokameran och dra åt skruven.**
   - Kameramonteringsskruven på denna enhet är en så kallad myntskruv. Dra åt den för hand och rikta in videokameran innan du drar åt den med ett mynt.

Användning av denna enhet för att filma

Justera tagningspositionen D
1. **Frigör låsspak S och dra ut arm S.**
2. **Öppna axeldynan och lägg den emot baksidan av axeln.**
3. **Fixera videokamerans tagningsposition och justera arm S till önskad längd. Lås sedan fast låsspak S.**

   Observera
   - Se till att arm S ligger stadigt på axeln och axeldynen mot ryggen.
   - Kontrollera samtidigt som du tittar i sökaren och på LCD-skärmen.
   - Det går inte att justera positionen eller höjden för denna enhet medan den är monterad på videokameran. Med vissa videokameror kan det vara svårt att få sökarens höjdläge att ligga i linje med ögonen.
4. **Frigör låsspak C och dra ut arm C.**
5. **Luta på bröstdynan och placera den breda delen mot kroppens framsida.**
6. **Justera längden på arm C och vinkeln på hölje C så att videokameran är i horisontalt läge.**
7. **Lås fast låsspak C.**
8. **Dra åt reglerratten för motstånd genom att vrida den medurs så att hölje C inte glider ner.**
   - Om det inte går att erhålla bra stöd för vikten, justera om längden och vinkeln på arm S.
   - Om det är svårt att panorera och vicka uppåt och nedåt under filmning, lossa på reglerratten för motstånd och flytta hölje C framåt.

   Observera
   - Reglerratten för motstånd används för att justera hur pass lätt det ska gå att öppna och stänga hölje S och hölje C. Även om du drar åt reglerratten för motstånd, går det inte att fullständigt fixera öppningsvinkeln för hölje C.

Justera den förinställda positionen E
För att alltid vara redo för filmning, kan du ändra den förinställda positionen (den maximalt utdragna positionen) för arm S i enlighet med följande steg.
1. **Lossa ställskruven på baksidan av hölje S.**
2. **Justera arm S till önskad förinställd längd och håll kvar i det läget.**
3. **Skjut ställskruven mot "MAX".**
4. **Tryck på och skjut ställskruven mot "MIN" tills det tar stopp, och dra sedan åt den.**

   Observera
   - Placera denna enhet på en jämn yta när justeringen ska göras. Det kan vara svårt att justera den förinställda positionen korrekt om denna enhet inte ligger jämnt.
   - Det är möjligt att det inte går att ställa in en förinställd position beroende på hur långt arm S är utdragen.

Fastsättning på ett stativ och filmning F
1. **Fäll in hölje C, axeldynan och bröstdynan.**
   - Om bröstdynan och axeldynan överlappar varandra mot höljet, kommer videokameran inte att ligga jämnt på stativets kameraplattform.
2. **Rikta in stifthålet på denna enhet mot stiftet på stativet.**
   - Vi hänvisar till bruksanvisningen för stativet för närmare information.

Fastsättning på VCT-U14 G
Genom att sätta på den medföljande adaptern U14A och adaptern U14B är det möjligt att fästa denna enhet på stativadaptern VCT-U14.
Skruva fast adapter U14A och adapter U14B på undersidan av denna enhet så som visas.
- Vid fastsättning på någon annan stativadapter än VCT-U14, ta bort adapter U14A och adapter U14B.

Sätta på tillbehör på denna enhet H
Genom att sätta på den medföljande tillbehörsplattan kan du montera hårddiskinspelaren HVR-DR60 och andra tillbehör på denna enhet.
Skruva fast tillbehörsplattan på hölje S så som visas.

Förvaring
Ta av denna enhet från videokameran, fäll in höljena, armarna och dynorna och förvara i specialpåsen.
- Du kan även förvara denna enhet påsatt på videokameran i en mjuk bärväska (LCS-G1BP).

Observera
- Kontrollera att bröstdynan och axeldynan är infällda så som visas innan enheten stoppas ner. (Illustration A-b)
- Om arm S och arm C är utdragna, skjut in dem före förvaring i specialpåsen.

Specifikationer

Maximal storlek	Ca. 359 × 52 × 134 mm (b/h/d)
Vikt	Ca. 840 g
Total vikt för videokamera och tillbehör som ska monteras	Max. 4 kg
Inkluderade artiklar	Videokamerastöd (VCT-SP2BP) (1), Specialpåse (1), Tillbehörsplatta (1), U14A adapter (1), U14B adapter (1), Skruvar (6), Uppsättning tryckt dokumentation

Utförande och specifikationer kan ändras utan föregående meddelande.

Italiano

Avviso per i clienti residenti nei paesi che applicano le direttive UE

Produttore: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Giappone
Per la conformità del prodotto in ambito UE: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, Belgio

VCT-SP2BP è un supporto per videocamera progettato appositamente per l'uso con le videocamere digitali HD Sony (d'ora in avanti definito "l'unità").
Prima dell'utilizzo, leggere attentamente queste istruzioni per l'uso. Dopo averle lette, conservarle per consultazione futura.
* L'unità potrebbe non essere compatibile con tutte le videocamere commercializzate localmente.

Attenzione
- Fare molta attenzione nell'aprire e ripiegare il cuscinetto dorsale, il cuscinetto pettorale, la guida S e la guida C per evitare che restino incastrate le dita.
- Non sorreggere l'unità quando la videocamera è montata. La videocamera potrebbe cadere e provocare lesioni o danni all'apparecchiatura.

Note sull'uso A
- Per regolare l'unità, poggiare il cuscinetto dorsale saldamente contro la spalla e all'indietro e regolare l'angolazione fino a quando il mirino e lo schermo LCD si vedono con facilità. (come illustrato nella figura A-a)
  Il peso non è supportato se il cuscinetto dorsale non aderisce al corpo.
- Quando si trasporta la videocamera montata sull'unità, accertarsi che l'unità sia ripiegata correttamente senza sovrapposizioni, come illustrato nelle figure Ⓐ e Ⓑ. (Figura A-b)
- Durante l'utilizzo dell'unità, poggiare la parte larga del cuscinetto pettorale piatta contro il torace, in modo che il peso sia distribuito sul torace.

Caratteristiche principali
- Sostiene la videocamera durante le riprese distribuendone il peso sulla spalla, la schiena e il torace.
- Regolando l'unità è possibile mantenere la videocamera nella posizione di ripresa ottimale e ridurre i movimenti della videocamera.
- È possibile montare la videocamera su un treppiede anche quando è montata sull'unità.

Nome delle parti B
1 **Cuscinetto dorsale**
2 **Braccio S**
3 **Leva di blocco S**
4 **Guida S**
5 **Perno**
6 **Rotella di regolazione frizione**
7 **Guida C**
8 **Levetta di scorrimento RELEASE**
9 **Leva di blocco C**
10 **Braccio C**
11 **Cuscinetto pettorale**
12 **Foro per la vite del treppiede**
13 **Vite di montaggio videocamera**
14 **Vite preregolata**

Montaggio della videocamera C
1. **Spostare la levetta di scorrimento RELEASE in direzione della freccia per sbloccare l'unità e aprire la guida C.**
2. **Allineare il perno dell'unità con il foro per il perno sulla videocamera.**
3. **Allineare la vite di montaggio videocamera dell'unità con il foro per la vite del treppiede sulla videocamera e serrarla.**
   - La vite di montaggio videocamera dell'unità è di tipo a taglio. Stringerla a mano e allineare la videocamera prima di serrare la vite con una moneta.

Uso dell'unità per effettuare le riprese

Regolare la posizione di ripresa D
1. **Rilasciare la leva di blocco S ed estrarre il braccio S.**
2. **Aprire il cuscinetto dorsale e poggiarlo contro la scapola.**
3. **Individuare la posizione di ripresa della videocamera e regolare il braccio S alla lunghezza desiderata. Serrare quindi la leva di blocco S.**

   Note
   - Verificare che il braccio S poggi saldamente sopra la spalla e che il cuscinetto dorsale poggi saldamente sulla schiena.
   - Eseguire il controllo guardando dentro il mirino e lo schermo LCD.
   - Non è possibile regolare la posizione o l'altezza dell'unità quando è applicata alla videocamera. Per alcune videocamere potrebbe risultare difficile allineare l'altezza del mirino alla linea dell'occhio.
4. **Rilasciare la leva di blocco C ed estrarre il braccio C.**
5. **Inclinare il cuscinetto pettorale e posizionare la parte larga contro il torace.**
6. **Regolare la lunghezza del braccio C e l'angolazione della guida C in modo che la videocamera si trovi in posizione orizzontale.**
7. **Serrare la leva di blocco C.**
8. **Serrare la rotella di regolazione frizione ruotandola in senso orario in modo che la guida C non cada.**
   - Se il peso non è distribuito uniformemente, regolare nuovamente la lunghezza e l'angolazione del braccio S.
   - Se durante le riprese le operazioni di rotazione verticale e orizzontale risultano difficoltose, allentare la rotella di regolazione frizione e spostare la guida C in avanti.

   Note
   - La rotella di regolazione frizione consente di regolare il livello di allentamento per l'apertura e la chiusura delle guide S e C. Anche serrando la rotella di regolazione frizione non è possibile fissare del tutto l'angolo di apertura-chiusura della guida C.

Regolazione della posizione preimpostata E
Per essere sempre pronti a riprendere, è possibile modificare la posizione preimpostata (la posizione di massima retrazione) del braccio S con la procedura descritta di seguito.
1. **Allentare la vite preimpostata sul retro della guida S.**
2. **Regolare e trattenere il braccio S alla lunghezza preimpostata desiderata.**
3. **Far scorrere la vite preimpostata verso "MAX."**
4. **Premere e far scorrere la vite preimpostata verso "MIN" fino a quando si ferma, quindi serrarla.**

   Note
   - Collocare l'unità su una superficie piana per eseguire la regolazione. Se l'unità non si trova in piano potrebbe risultare difficile regolare con precisione la posizione preimpostata.
   - Potrebbe non essere possibile impostare la posizione preimpostata in base alla lunghezza retratta del braccio S.

Montaggio su treppiede ed esecuzione delle riprese F
1. **Ripiegare la guida C, il cuscinetto dorsale e quello pettorale.**
   - Se il cuscinetto pettorale e il cuscinetto dorsale si sovrappongono alle guide, la videocamera non potrà essere posizionata in piano sulla placchetta di appoggio del treppiede.
2. **Allineare il foro del perno dell'unità con il foro del perno sul treppiede.**
   - Per informazioni più dettagliate, consultare le istruzioni per l'uso del treppiede.

Applicazione a VCT-U14 G
I riduttori U14A e U14B in dotazione consentono di collegare l'unità a un riduttore per treppiede VCT-U14.
Avvitare i riduttori U14A e U14B alla base dell'unità, come illustrato.
- Per il montaggio su un adattatore per treppiede diverso da VCT-U14, rimuovere i riduttori U14A e U14B.

Montaggio degli accessori sull'unità H
La placchetta accessoria in dotazione consente di montare un dispositivo di registrazione con disco fisso HVR-DR60 o un altro accessorio sull'unità.
Avvitare la placchetta accessoria alla guida S come illustrato.

Riponimento
Rimuovere l'unità dalla videocamera, ripiegare le guide, i bracci e i cuscinetti e riporli nell'apposita custodia.
- È anche possibile riporre l'unità collegata alla videocamera in una borsa da trasporto morbida (LCS-G1BP).

Note
- Assicurarsi che i cuscinetti pettorale e dorsale siano ripiegati come illustrato prima di riporli. (Figura A-b)
- Se il braccio S e il braccio C sono estesi, accorciarli prima di riporli nella custodia apposita.

Caratteristiche tecniche

Dimensioni massime	Circa 359 × 52 × 134 mm (l/a/p)
Peso	Circa 840 g
Peso totale della videocamera e degli accessori da montare	Massimo 4 kg
Accessori inclusi	Supporto per videocamera (VCT-SP2BP) (1), Custodia (1), Placchetta accessoria (1), Riduttore U14A (1), Riduttore U14B (1), Viti (6), Corredo di documentazione stampata

Disegno e caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Português

Nota para os clientes nos países que apliquem as Directivas da UE

Fabricante: Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japão
Para a conformidade dos produtos na EU: Sony Belgium, bijkantoor van Sony Europe Limited, Da Vincilaan 7-D1, 1935 Zaventem, Bélgica

O VCT-SP2BP é um suporte de câmara de vídeo especialmente concebido para ser utilizado com Câmaras de Vídeo Digital HD da Sony (referido abaixo como "esta unidade").
Antes de utilizar esta unidade, leia este manual de instruções. Depois de o ler, guarde-o para futura consulta.
* Esta unidade pode não ser compatível com todas as câmaras de vídeo existentes no seu país ou região.

Cuidado
- Tenha muito cuidado quando abrir e fechar o acolchoado do ombro, o acolchoado do peito, a estrutura S e a estrutura C. Pode entalar os dedos.
- Não segure nesta unidade quando a câmara de vídeo estiver fixa. A câmara de vídeo pode cair, originando danos ou lesões.

Notas de utilização A
- Para ajustar esta unidade, encoste bem o acolchoado do ombro no ombro e nas costas e altere o ângulo até que seja fácil de ver o viewfinder e o ecrã LCD (Ilustração A-a).
  O peso não é suportado se o acolchoado do ombro estiver no ar.
- Quando transportar a câmara de vídeo enquanto estiver fixa nesta unidade, certifique-se de que a unidade está correctamente dobrada sem sobreposições, conforme demonstrado nas ilustrações Ⓐ e Ⓑ (Ilustração A-b).
- Quando utilizar esta unidade, encoste ao peito a parte larga do acolchoado do peito para que o peso seja distribuído pelo peito.

Principais características
- Suporta a câmara de vídeo durante as gravações distribuindo o peso pelo ombro, costas e peito.
- Se ajustar esta unidade, consegue manter a câmara de vídeo no ponto de visualização ideal para gravar e reduz o tremer da câmara.
- A câmara de vídeo pode ser fixa num tripé mesmo com esta unidade fixa.

Nomes das peças B
1 **Acolchoado do ombro**
2 **Braço S**
3 **Controlo de bloqueio S**
4 **Estrutura S**
5 **Pino**
6 **Controlo rotativo da fricção**
7 **Estrutura C**
8 **Cursor RELEASE (libertar)**
9 **Controlo de bloqueio C**
10 **Braço C**
11 **Acolchoado do peito**
12 **Orifício para o parafuso do tripé**
13 **Parafuso de montagem da câmara**
14 **Parafuso de predefinição**

Fixar a câmara de vídeo C
1. **Deslize o cursor RELEASE na direcção da seta para desbloquear esta unidade e abrir a estrutura C.**
2. **Alinhe o pino desta unidade com o respectivo orifício na câmara de vídeo.**
3. **Alinhe o parafuso de montagem da câmara desta unidade com o orifício para o parafuso do tripé na câmara de vídeo e aperte-o.**
   - O parafuso de montagem da câmara desta unidade é um parafuso de moeda. Aperte-o à mão e alinhe a câmara de vídeo antes de o apertar com uma moeda.

Utilizar esta unidade para gravar

Ajustar a posição de gravação D
1. **Liberte o controlo de bloqueio S e puxe o braço S para fora.**
2. **Abra o acolchoado do ombro e encoste-o à omoplata.**
3. **Fixe a posição de gravação da câmara de vídeo e ajuste o braço S com o comprimento pretendido. Em seguida, fixe o controlo de bloqueio S.**

   Notas
   - Certifique-se de que o braço S está bem colocado sobre o ombro e que o acolchoado do ombro está encostado à omoplata.
   - Verifique esta posição ao mesmo tempo que olha para o viewfinder e para o ecrã LCD.
   - Não pode ajustar a posição nem a altura desta unidade enquanto ela estiver fixa na câmara de vídeo. No caso de algumas câmaras de vídeo, pode ser difícil de alinhar a altura do viewfinder com a linha dos seus olhos.
4. **Liberte o controlo de bloqueio C e puxe o braço C para fora.**
5. **Incline o acolchoado do peito e encoste a parte larga à parte da frente do tronco.**
6. **Ajuste o comprimento do braço C e o ângulo da estrutura C de modo a que a câmara de vídeo esteja na horizontal.**
7. **Fixe o controlo de bloqueio C.**
8. **Aperte o controlo rotativo da fricção rodando-o no sentido dos ponteiros do relógio, de modo a que a estrutura C não caia.**
   - Se o peso não estiver devidamente suportado, volte a ajustar o comprimento e o ângulo do braço S.
   - Se, durante a gravação, for difícil de rodar e inclinar a câmara, desaperte o controlo rotativo da fricção e desloque a estrutura C para a frente.

   Notas
   - O controlo rotativo da fricção ajusta o aperto ao abrir e fechar a estrutura S e a estrutura C. Mesmo que aperte o controlo rotativo da fricção, não consegue fixar completamente o ângulo de abertura-fecho da estrutura C.

Ajustar a posição predefinida E
Para manter a câmara pronta para gravar, pode alterar a posição predefinida (a máxima posição de recuo) do braço S de acordo com os seguintes passos.
1. **Desaperte o parafuso de predefinição na parte posterior da estrutura S.**
2. **Ajuste e segure no braço S no comprimento predefinido pretendido.**
3. **Deslize o parafuso de predefinição em direcção a "MAX".**
4. **Pressione e deslize o parafuso de predefinição em direcção a "MIN" até parar e depois aperte-o.**

   Notas
   - Para ajustar esta unidade, coloque-a numa superfície plana. Poderá ser difícil de ajustar correctamente a posição predefinida se esta unidade não estiver nivelada.
   - Poderá não ser possível definir a posição predefinida, dependendo do comprimento de recuo do braço S.

Fixar um tripé e gravar F
1. **Dobre a estrutura C, o acolchoado do ombro e o acolchoado do peito.**
   - Se o acolchoado do peito e o acolchoado do ombro ficarem sobrepostos na estrutura, a câmara de vídeo não consegue ficar nivelada na plataforma para a câmara do tripé.
2. **Alinhe o orifício do pino nesta unidade com o pino do tripé.**
   - Para mais detalhes, consulte o manual de instruções do tripé.

Fixar no VCT-U14 G
Se montar os adaptadores U14A e U14B fornecidos, pode fixar esta unidade num adaptador de tripé VCT-U14.
Aparafuse os adaptadores U14A e U14B na parte debaixo desta unidade, conforme ilustrado.
- Quando fixar a unidade num adaptador de tripé que não seja o VCT-U14, retire os adaptadores U14A e U14B.

Montar acessórios nesta unidade H
Se montar a placa de acessórios fornecida, pode montar um disco rígido de gravação HVR-DR60 ou outro acessório nesta unidade.
Aparafuse a placa de acessórios na estrutura S, conforme ilustrado.

Armazenamento
Retire esta unidade da câmara de vídeo, dobre as estruturas, os braços e os acolchoados e guarde a unidade numa bolsa especial.
- Também pode guardar esta unidade fixa na câmara de vídeo num estojo de transporte flexível (LCS-G1BP).

Notas
- Certifique-se de que o acolchoado do ombro e o acolchoado do peito estão dobrados, conforme ilustrado, antes de guardar a unidade (Ilustração A-b).
- Se o braço S e o braço C estiverem estendidos, retraia-os antes de guardar a unidade na bolsa especial.

Características técnicas

Dimensões máximas	Aprox. 359 × 52 × 134 mm (l/a/p)
Peso	Aprox. 840 g
O peso total da câmara de vídeo e acessórios a montar	Máx. 4 kg
Itens incluídos	Suporte da câmara de vídeo (VCT-SP2BP) (1), Bolsa especial (1), Placa de acessórios (1), Adaptador U14A (1), Adaptador U14B (1), Parafusos (6), Documentos impressos

O design e as especificações estão sujeitos a alterações sem aviso prévio.

Русский

Модель VCT-SP2BP представляет собой упор для видеокамеры, предназначенный специально для использования с цифровыми HD-видеокамерами Sony. (Далее именуется как"устройство")
Перед использованием прочтите данную инструкцию по эксплуатации. После прочтения сохраните ее для последующего использования.
* Данное устройство может не быть совместимо со всеми видеокамерами в вашей стране или регионе.

Внимание
- Будьте очень осторожны при открывании и закрывании плечевой накладки, грудной накладки, кожуха S и кожуха C. При этом существует риск защемления пальцев.
- Не держите данное устройство, когда к нему прикреплена видеокамера. Видеокамера может упасть, что приведет к ее повреждению или получению травмы.

Примечания относительно использования A
- Чтобы отрегулировать данное устройство, плотно прижмите плечевую накладку к плечу и спине и изменяйте угол до тех пор, пока видоискатель и LCD-экран не будут хорошо видны. (Рисунок A-a)
  Весовая нагрузка не будет иметь опоры, если плечевая накладка будет находиться в воздухе.
- При переноске видеокамеры, прикрепленной к данному устройству, убедитесь, что данное устройство правильно сложено без перекрывания, как показано на рисунках Ⓐ и Ⓑ. (Рисунок A-b)
- При использовании данного устройства удерживайте широкую часть грудной накладки плотно прижатой к груди таким образом, чтобы весовая нагрузка была распределена по поверхности груди.

Основные особенности
- Обеспечивает опору для видеокамеры во время съемки, распределяя весовую нагрузку между плечом, спиной и грудью.
- Регулировка данного устройства позволяет удерживать видеокамеру в оптимальном положении для съемки и уменьшает дрожание камеры.
- Видеокамеру с прикрепленным устройством по прежнему можно устанавливать на штатив.

Наименования компонентов B
1 **Плечевая накладка**
2 **Рычаг S**
3 **Блокирующий фиксатор S**
4 **Кожух S**
5 **Штифт**
6 **Рукоятка регулировки трения**
7 **Кожух C**
8 **Защелка RELEASE**
9 **Блокирующий фиксатор C**
10 **Рычаг C**
11 **Грудная накладка**
12 **Гнездо для прикручивания штатива**
13 **Установочный винт камеры**
14 **Винт предварительной установки**

Прикрепление видеокамеры C
1. **Сдвиньте защелку RELEASE в направлении стрелки, чтобы разблокировать данное устройство и открыть кожух C.**
2. **Совместите штифт данного устройства с отверстием для штифта на видеокамере.**
3. **Совместите установочный винт для камеры данного устройства с гнездом для прикручивания штатива видеокамеры и затяните его.**
   - Установочный винт для камеры данного устройства можно затянуть с помощью монеты. Затяните его рукой и поравняйте видеокамеру перед тем, как затянуть его с помощью монеты.

Использование данного устройства для съемки

Отрегулируйте положение съемки D
1. **Отпустите блокирующий фиксатор S и вытяните рычаг S.**
2. **Откройте плечевую накладку и прижмите ее к задней стороне плеча.**
3. **Зафиксируйте положение видеокамеры для съемки и отрегулируйте рычаг S до нужной длины. Затем затяните блокирующий фиксатор S.**

   Примечания
   - Убедитесь, что рычаг S прочно расположен на плече, а плечевая накладка прижата к спине.
   - Проверьте это, на самом деле смотря в видоискатель и LCD-экран.
   - Положение или высоту данного устройства невозможно отрегулировать, если оно не прикреплено к видеокамере. При использовании некоторых видеокамер совместить высоту видоискателя с линией глаз может быть затруднительно.
4. **Отпустите блокирующий фиксатор C и вытяните рычаг C.**
5. **Наклоните грудную накладку и прижмите широкую часть к передней стороне тела.**
6. **Отрегулируйте длину рычага C и угол кожуха C таким образом, чтобы видеокамера была расположена горизонтально.**
7. **Затяните блокирующий фиксатор C.**
8. **Затяните рукоятку регулировки трения, вращая ее по часовой стрелке, таким образом, чтобы кожух C не опускался.**
   - Если вес не поддерживается надлежащим образом, повторно отрегулируйте длину и угол рычага S.
   - Если панорамирование и наклон во время съемки будут затруднены, ослабьте рукоятку регулировки трения и сместите кожух C вперед.

   Примечания
   - Рукоятка регулировки трения позволяет регулировать ослабление при открывании и закрывании кожуха S и кожуха C. Даже затянув рукоятку регулировки трения, нельзя полностью зафиксировать угол открывания-закрывания кожуха C.

Регулировка предустановленного положения E
Чтобы обеспечить готовность к съемке, можно изменить предустановленное положение (положение максимального извлечения) рычага S следующим образом.
1. **Ослабьте винт предварительной установки на задней стороне кожуха S.**
2. **Отрегулируйте и удерживайте рычаг S на нужной предустановленной длине.**
3. **Сдвиньте винт предварительной установки в сторону метки "MAX".**
4. **Нажмите и сдвигайте винт предварительной установки в сторону метки "MIN" пока он не остановится, а затем затяните его.**

   Примечания
   - Поместите данное устройство на ровной поверхности для его регулировки. Если данное устройство не будет размещено ровно, надлежащая регулировка предустановленного положения может быть затруднена.
   - В зависимости от длины извлечения рычага S, установка предустановленного положения может быть недоступна.

Прикрепление к штативу и съемка F
1. **Сложите кожух C, плечевую накладку и грудную накладку.**
   - Если грудная накладка и плечевая накладка будут перекрываться с кожухом, видеокамеру невозможно будет установить горизонтально на платформе для камеры на штативе.
2. **Совместите отверстие для штифта данного устройства со штифтом штатива.**
   - Подробные сведения приведены в инструкции по эксплуатации штатива.

Прикрепление к VCT-U14 G
Установка прилагаемых адаптеров U14A и U14B позволяет прикреплять данное устройство к адаптеру штатива VCT-U14.
Прикрутите адаптеры U14A и U14B к нижней стороне данного устройства, как показано на рисунке.
- В случае прикрепления в адаптеру штатива, отличному от VCT-U14, отсоедините адаптеры U14A и U14B.

Прикрепление к данному устройству дополнительных принадлежностей H
Прикрепление прилагаемой пластины для принадлежностей позволяет устанавливать на данном устройстве записывающее устройство с жестким диском HVR-DR60 или другие дополнительные принадлежности.
Прикрутите пластину для принадлежностей к кожуху S, как показано на рисунке.

Хранение
Снимите данное устройство с видеокамеры, сложите кожухи, рычаги и накладки и храните в специальном футляре.
- Данное устройство также можно хранить прикрепленным к видеокамере в мягком переносном футляре (LCS-G1BP).

Примечания
- Перед хранением убедитесь, что грудная накладка и плечевая накладка сложены, как показано на рисунке. (Рисунок A-b)
- Если рычаги S и C выдвинуты, сложите их перед хранением в специальном футляре.

Технические характеристики

Максимальные размеры	Приблиз. 359 × 52 × 134 мм (ш/в/г)
Масса	Приблиз. 840 г
Максимальные размеры (специальный футляр)	Приблиз. 439 × 70 × 175 мм (ш/в/г)
Общий вес видеокамеры и дополнительных принадлежностей для монтажа	Макс. 4 кг
Комплектность поставки	Упор для видеокамеры (VCT-SP2BP) (1), специальный футляр (Полиэстер, Сделано в Китае) (1), пластина для принадлежностей (1), адаптер U14A (1), адаптер U14B (1), винты (6), набор печатной документации

Конструкция и технические характеристики могут быть изменены без уведомления.

Изготовитель: Сони Корпорейшн
Адрес: 1-7-1 Конан,
Минато-ку, Токио 108-0075, Япония
Страна-производитель: Япония

Дата изготовления изделия.
Дата изготовления указана на упаковке в следующем формате: MM-YYYY, где MM - месяц, YYYY - год изготовления.

Только для моделей предназначеных для рынков России и стран СНГ
Импортер на территории стран Таможенного союза АО «Сони Электроникс», Россия, 123103, Москва, Карамышевский проезд, 6

Организация, уполномоченная принимать претензии от потребителей на территории Казахстана
АО «Сони Электроникс»
Представительство в Казахстане,
050010, Республика Казахстан, г. Алматы, пр. Достык, дом 117/7

Знак EAC относится к специальному футляру.

中文（繁）

VCT-SP2BP 為專門為搭配 Sony 數位 HD 攝錄影機使用而設計的多功能攝影機支架。（以下稱“本裝置”）
使用前請閱讀使用說明書。閱讀後，請將其妥善保存以備未來參考之用。
* 本裝置可能無法與您所在國家或地區銷售的所有攝影機相容。

注意
- 打開及關上肩墊、胸墊、外殼 S 和外殼 C 時請務必小心，可能會夾住您的手指。
- 當本裝置裝上攝影機時，請勿持握本裝置，攝影機可能會掉落而導致損害或受傷。

使用須知 A
- 若要調整本裝置，請將肩墊穩固地靠在肩上和背上，然後調整角度，直到可以輕鬆看到觀景器和LCD螢幕為止。（圖示A-a）
  若未將肩墊靠在肩膀上，則無法支撐攝影機的重量。
- 若要搬運已裝上本裝置的攝影機，請確定已如圖示 Ⓐ 和 Ⓑ 所示將本裝置正確收折。（圖示A-b）
- 使用本裝置時，請將胸墊較寬的部位靠在您的胸部，使攝影機的部分重量分散至胸部。

主要功能
- 將重量分散至肩膀、背部和胸部，以便在攝影時支撐起攝影機。
- 可調整本裝置，使攝影機維持在最佳拍攝角度並減低攝影機震動。
- 若已裝上本裝置，仍可將攝影機安裝於三腳架上。

部位名稱 B
1 肩墊
2 支撐臂 S
3 鎖定桿 S
4 外殼 S
5 插腳
6 摩擦力控制旋鈕
7 外殼 C
8 RELEASE 滑動開關
9 鎖定桿 C
10 支撐臂 C
11 胸墊
12 三腳架安裝螺絲孔
13 攝影機安裝螺絲
14 預設螺絲

安裝攝影機 C
1. 將 RELEASE 滑動開關依箭頭方向滑動，以鬆開本裝置並打開外殼 C。
2. 將本裝置的插腳對準攝影機的插腳孔。
3. 將本裝置的攝影機安裝螺絲對準攝影機的三腳架螺絲孔，然後將螺絲鎖緊。
   - 本裝置的攝影機安裝螺絲為可用硬幣鎖緊的螺絲。請用手稍微鎖緊螺絲並對準攝影機，然後以硬幣將螺絲鎖緊。

使用本裝置拍攝

調整拍攝位置 D
1. 鬆開鎖定桿 S 並拉出支撐臂 S。
2. 打開肩墊，並將肩墊靠在您的肩上和背部。
3. 固定攝影機的拍攝位置，並將支撐臂 S 調整至所需的長度，然後鎖緊鎖定桿 S。

   備註
   - 請確定支撐臂 S 穩固地靠在肩膀上，且肩墊也穩固地靠在背部。
   - 使用觀景器和 LCD 螢幕檢查是否已將本裝置調整至最佳位置。
   - 您無法在將本裝置安裝至攝影機之後調整本裝置的位置或高度。搭配某些攝影機使用時，觀景器的高度可能很難和您的視線對齊。
4. 鬆開鎖定桿 C 並拉出支撐臂 C。
5. 將胸墊傾斜，並將其較寬的部位靠在您身體的正面。
6. 調整支撐臂 C 的長度及外殼 C 的角度，讓攝影機呈水平狀態。
7. 鎖緊鎖定桿 C。
8. 依順時針方向轉動摩擦力控制旋鈕將其鎖緊，以固定外殼 C。
   - 若未徹底支撐攝影機的重量，請重新調整支撐臂 S 的長度和角度。
   - 若拍攝時很難以搖攝及傾斜方式拍攝，請鬆開摩擦力控制旋鈕，並將外殼 C 向前移動。

   備註
   - 摩擦力控制旋鈕可調整鬆緊度，以便打開及關上外殼 S 和外殼 C。即使將摩擦力控制旋鈕鎖緊，也無法完全固定外殼 C 的開啟/關上角度。

調整預設位置 E
若要保持可隨即拍攝狀態，可依照下列步驟變更支撐臂 S 的預設位置（最大拉開位置）。
1. 鬆開外殼 S 後側的預設螺絲。
2. 將支撐臂 S 調整並固定至所需的預設長度。
3. 將預設螺絲往 “MAX” 方向滑動。
4. 按下預設螺絲並往 “MIN” 方向滑動直到螺絲停止，然後將螺絲鎖緊。

   備註
   - 請將本裝置放在平坦表面上調整。若本裝置未呈現水平狀態，則可能很難正確地調整預設位置。
   - 視支撐臂 S 的拉開長度不同，可能會無法設定預設位置。

安裝至三腳架及拍攝 F
1. 收回並折起外殼 C、肩墊和胸墊。
   - 若胸墊和肩墊與外殼重疊，攝影機便無法以水平方式置於三腳架的攝影機平台上。
2. 將本裝置的插腳孔對準三腳架的插腳。
   - 如欲瞭解詳情，請參閱三腳架隨附的使用說明書。

安裝至 VCT-U14 G
裝上隨附的 U14A 和 U14B 轉接器，以便將本裝置安裝至 VCT-U14 三腳架轉接器上。
如圖所示，將 U14A 和 U14B 轉接器以螺絲固定在本裝置底部。
- 安裝至 VCT-U14 以外的三腳架轉接器時，請卸除 U14A 和 U14B 轉接器。

安裝配件至本裝置 H
安裝隨附的配件板可讓您將 HVR-DR60 硬碟記錄裝置或其他配件安裝到本裝置上。
如圖所示，將配件板以螺絲固定在外殼 S 上。

存放
請將本裝置從攝影機上卸下，收回並折起外殼、支撐臂和靠墊，然後存放到專用收納袋中。
- 您也可以在將本裝置安裝至攝影機時，將其一起存放在軟式便攜包（LCS-G1BP）中。

備註
- 存放本裝置前，確定已如圖所示將胸墊和肩墊折起。（圖示A-b）
- 若支撐臂 S 和支撐臂 C 未收回，請在將本裝置收到專用收納袋之前將其收回。

規格

最大尺寸	約 359 × 52 × 134 mm（寬/高/深）
質量	約 840 g
攝影機與安裝配件的總重量	最大4 kg
所含物品	多功能攝影機支架（VCT-SP2BP）（1）、專用收納袋（1）、配件板（1）、U14A 轉接器（1）、U14B 轉接器（1）、螺絲（6）、成套印刷文件

設計和規格有所變更時，恕不另行奉告。

中文（简）　　保留备用

VCT-SP2BP 是一种专门设计用于 Sony 数码 HD 摄录一体机的多功能摄像机支架（以下简称“本装置”）。
使用之前，请仔细阅读这些使用说明书。阅读完毕后，请妥善保管，以备今后参考。
* 本装置可能无法与您所在国家或地区的所有摄录机兼容。

注意
- 开合肩垫、胸垫、套管 S 和套管 C 时须格外小心，以免夹伤手指。
- 切勿在安装摄录机的情况下握持本装置。否则可能会将摄录机摔到地上，从而导致设备受损或造成人身伤害。

使用须知 A
- 若要调整本装置，请使肩垫牢牢抵住肩部和背部，然后改变角度，直到能方便地看到取景器和 LCD 显示屏。（图 A-a）
  如果肩垫悬空，则无法起到支撑负载的作用。
- 在安装到本装置上的情况下携带摄录机时，应确保按图 Ⓐ 和图 Ⓑ 所示正确折叠本装置，不要有交叠。（图 A-b）
- 使用本装置时，应使胸垫上较宽的部分与胸部保持齐平并抵住胸部，以便让负载分散到胸部上。

主要特性
- 通过将负载分散到肩部、背部及胸部，可在拍摄期间起到支撑摄录机的作用。
- 通过调整本装置，可使摄录机保持最佳拍摄视角，同时减少摄录机的晃动。
- 在安装本装置的情况下，仍可以将摄录机固定到三脚架上。

部件名称 B
1 肩垫
2 支臂 S
3 锁杆 S
4 套管 S
5 销门
6 摩擦控制盘
7 套管 C
8 RELEASE 滑块
9 锁杆 C
10 支臂 C
11 胸垫
12 三脚架螺丝孔
13 摄录机安装螺丝
14 预置螺丝

安装摄录机 C
1. 沿箭头方向滑动 RELEASE 滑块，从而解锁本装置并打开套管 C。
2. 使本装置的销门与摄录机的销门孔对齐。
3. 使本装置的摄录机安装螺丝与摄录机的三脚架螺丝孔对齐，然后将其拧紧。
   - 本装置的摄录机安装螺丝是一种硬币式螺丝。请先用手拧动螺丝并对齐摄录机，然后再用硬币将其拧紧。

使用本装置拍摄

调整拍摄位置 D
1. 松开锁杆 S 并拉出支臂 S。
2. 展开肩垫并将其搭到后肩上。
3. 固定好摄像机的拍摄位置并将支臂 S 调整到所需的长度。 然后，拧紧锁杆 S。

   注意
   - 确保支臂 S 牢牢搭在肩膀上，且肩垫钩在后肩上。
   - 目视取景器和 LCD 显示屏，检查是否到位。
   - 将本装置安装至摄录机后，将无法再调整它的位置或高度。对于某些摄录机而言，取景器的高度可能很难与您的视线平齐。
4. 松开锁杆 C 并拉出支臂 C。
5. 倾斜胸垫并使其较宽的部分抵住身体的前侧。
6. 调整支臂 C 的长度和套管 C 的角度，使摄录机保持水平。
7. 拧紧锁杆 C。
8. 顺时针转动摩擦控制盘以将其拧紧，从而确保套管 C 不会摔落。
   - 如果未能正确支撑负载，请重新调整支臂 S 的长度和角度。
   - 如果在拍摄过程中难于摇动和倾斜，请松开摩擦控制盘并将套管 C 向前移。

   注意
   - 开合套管 S 和套管 C 时，摩擦控制盘可调整套管的松紧度。即使拧紧摩擦控制盘，也无法完全固定套管 C 的开合角度。

调整预设位置 E
为了保持拍摄就绪状态，您可以按照以下步骤来改变支臂 S 的预设位置（最大回缩位置）。
1. 松开套管 S 后端的预置螺丝。
2. 将支臂 S 调整至所需的预设长度并保持不动。
3. 朝着“MAX”的方向滑动预置螺丝。
4. 按压预置螺丝并使之朝着“MIN”的方向滑动，直至不能动为止，然后将其拧紧。

   注意
   - 调整本装置时，应将其放在平坦的表面上。如果本装置未处于水平状态，则可能很难正确调整预设位置。
   - 取决于支臂 S 的回缩长度，有时无法设定预设位置。

安装至三脚架并拍摄 F
1. 将套管 C、肩垫及胸垫折叠好。
   - 如果胸垫和肩垫与套管之间存在交叠，摄录机在三脚架的摄录机台座上将无法保持水平。
2. 使本装置的销门孔与三脚架的销门对齐。
   - 有关详情，请参阅三脚架的使用说明书。

安装至 VCT-U14 G
通过安装随附的 U14A 和 U14B 适配器，可以将本装置安装到 VCT-U14 三脚架适配器上。
如图所示，用螺丝将 U14A 和 U14B 适配器固定到本装置的底部。
- 安装至除 VCT-U14 以外的其他三脚架适配器上时，请将 U14A 和 U14B 适配器卸下。

将配件安装至本装置 H
通过安装随附的配件转接板，可以将 HVR-DR60 硬盘记录装置或其他配件安装到本装置上。
如图所示，请用螺丝将配件转接板固定到套管 S 上。

存放
将本装置从摄录机上取下，折叠好套管、支臂和护垫，然后放入专用便携袋中。
- 在安装有摄录机的情况下，也可以将本装置存放到软便携包（LCS-G1BP）中。

注意
- 存放前，确保胸垫和肩垫已按图中所示折叠好。（图 A-b）
- 如果支臂 S 和支臂 C 处于展开状态，在放入专用便携袋之前，请将其收起。

规格

最大尺寸（约）	359 mm × 52 mm × 134 mm（宽/高/长）
质量	约 840 g
所安装摄录机及配件的总重量	不超过 4 kg
所含物品	多功能摄像机支架 (VCT-SP2BP) (1)，专用便携袋 (1)，配件转接板 (1)，U14A 适配器 (1)，U14B 适配器 (1)，螺丝 (6)，成套印刷文件

设计或规格如有变动，恕不另行通知。

한국어

VCT-SP2BP는 Sony 디지털 HD 비디오 레코더에 사용하도록 특별히 제작된 캠코더 서포트입니다. (이하 “본 기기” 라고 함)
사용전에 본 사용설명서를 반드시 읽어 주십시오. 읽으신 후에는 나중에 참조할 수 있도록 잘 보관해 주십시오.
* 본 기기는 고객님이 거주하시는 국가 또는 지역의 모든 비디오 카메라와 호환하지 않을 수도 있습니다.

주의
- 어깨 패드, 가슴 패드, 케이싱 S 및 케이싱 C를 열고 닫을 때에는 각별히 주의해 주십시오. 손가락이 끼일 우려가 있습니다.
- 비디오 카메라가 부착된 때에는 본 기기를 잡지 마십시오. 비디오 카메라가 떨어져서 손상 또는 부상을 초래할 수 있습니다.

사용상의 주의 A
- 본 기기를 조정하려면 고객님의 어깨와 등에 어깨 패드를 단단히 갖다대고, 뷰파인더 및 LCD 스크린이 보기 쉽게 될 때까지 각도를 변경해 주십시오. (그림 A-a)
  어깨 패드가 뜬 상태에서는 중량 부하를 지원할 수 없습니다.
- 본 기기에 비디오 카메라를 부착한 상태로 운반할 때에는, 본 기기가 그림 Ⓐ 및 Ⓑ 와 같이 겹치지 않게 잘 접히도록 해 주십시오. (그림 A-b)
- 본 기기를 사용할 때에는 가슴 패드의 넓은 부분을 가슴에 편평하게 되도록 갖다대어서 중량 부하가 가슴에 골고루 분산되도록 해 주십시오.

주요 기능
- 어깨, 등 및 가슴에 중량 부하를 분산시켜서 촬영중 비디오 카메라를 지지합니다.
- 본 기기를 조정하면 촬영에 최적인 시점으로 비디오 카메라를 유지하고 카메라의 흔들림을 줄입니다.
- 비디오 카메라는 본 기기를 부착한 상태로 삼각대에 고정할 수 있습니다.

각부 명칭 B
1 **어깨 패드**
2 **암 S**
3 **잠금 레버 S**
4 **케이싱 S**
5 **핀**
6 **마찰 조절 다이얼**
7 **케이싱 C**
8 **RELEASE 슬라이더**
9 **잠금 레버 C**
10 **암 C**
11 **가슴 패드**
12 **삼각대 나사 구멍**
13 **카메라 장착 나사**
14 **프리셋 나사**

비디오 카메라 부착하기 C
1. **RELEASE 슬라이더를 화살표 방향으로 밀어서 본 기기의 잠금을 해제하고 케이싱 C를 엽니다.**
2. **본 기기의 핀과 비디오 카메라의 핀 구멍을 맞춥니다.**
3. **본 기기의 카메라 장착 나사와 비디오 카메라의 삼각대 나사 구멍을 맞춘 후 조입니다.**
   - 본 기기의 카메라 장착 나사는 코인 나사입니다. 코인으로 조이기 전에 손으로 조여서 비디오 카메라와 맞춥니다.

본 기기를 사용해서 촬영하기

촬영 위치 조정 D
1. **잠금 레버 S를 풀고 암 S를 당겨냅니다.**
2. **어깨 패드를 열어서 어깨 뒤에 위치시킵니다.**
3. **비디오 카메라의 촬영 위치를 고정하고 원하는 길이로 암 S를 조정합니다. 그리고나서 잠금 레버 S를 조입니다.**

   주의
   - 암 S가 어깨에, 어깨 패드가 등에 제대로 위치한 것을 확인합니다.
   - 뷰 파인더 및 LCD 화면을 실제로 보면서 확인합니다.
   - 비디오 카메라에 부착된 상태에서는 본 기기의 위치 또는 높이를 조정할 수 없습니다. 일부 비디오 카메라의 경우에는 뷰파인더의 높이를 시야와 맞추기가 어려울 수도 있습니다.
4. **잠금 레버 C 를 풀고 암 C를 당겨냅니다.**
5. **가슴 패드를 기울여서 넓은 면을 신체 앞면에 갖다댑니다.**
6. **암 C의 길이 및 케이싱 C의 각도를 조정해서 비디오 카메라가 수평으로 되게 합니다.**
7. **잠금 레버 C를 조입니다.**
8. **케이싱 C가 떨어지지 않도록 마찰 조절 다이얼을 시계방향으로 돌려서 조입니다.**
   - 중량을 올바르게 지지할 수 없으면 암 S의 길이와 각도를 재조정합니다.
   - 촬영중에 팬 및 틸트하기가 어려운 경우에는 마찰 조절 다이얼을 풀어서 케이싱 C를 앞으로 이동시킵니다.

   주의
   - 마찰 조절 다이얼은 케이싱 S 및 케이싱 C를 열고 닫을 때의 느슨한 정도를 조절합니다. 마찰 조절 다이얼을 조인다고 해도 케이싱 C의 개폐 각도를 완전히 고정할 수 있는 것은 아닙니다.

프리셋 위치 조정하기 E
촬영 준비를 신속하게 하기 위해서 다음 절차에 따라 암 S의 프리셋 위치(최대로 당겨낸 위치)를 변경할 수 있습니다.
1. **케이싱 S 뒷면의 프리셋 나사를 풉니다.**
2. **원하는 프리셋 길이로 암 S를 조정해서 고정합니다.**
3. **“MAX” 쪽으로 프리셋 나사를 슬라이드시킵니다.**
4. **프리셋 나사를 “MIN” 쪽으로 움직이지 않을 때까지 눌러서 슬라이드시킨 후 조입니다.**

   주의
   - 본 기기는 편평한 곳에 놓고 조정해 주십시오. 본 기기가 기울어진 경우에는 프리셋 위치의 올바른 조정이 어려울 수 있습니다.
   - 암 S의 당겨낸 길이에 따라서는 프리셋 위치를 설정할 수 없는 경우도 있습니다.

삼각대에 부착해서 촬영하기 F
1. **케이싱 C, 어깨 패드 및 가슴 패드를 접습니다.**
   - 가슴 패드 및 어깨 패드가 케이싱과 겹치는 경우에는 비디오 카메라가 삼각대의 카메라 플랫폼에 수평으로 장착되지 않습니다.
2. **본 기기의 핀 구멍과 삼각대의 핀을 맞춥니다.**
   - 상세한 내용은 삼각대의 사용설명서를 참조해 주십시오.

VCT-U14에 부착하기 G
부속된 U14A 및 U14B 어댑터를 고정하면 본 기기를 VCT-U14 삼각대 어댑터에 부착할 수 있습니다.
U14A 및 U14B 어댑터를 본 기기의 바닥에 그림처럼 나사로 조여 주십시오.
- VCT-U14 이외의 삼각대 어댑터에 부착하는 경우에는 U14A 및 U14B 어댑터를 제거해 주십시오.

본 기기에 액세서리 부착하기 H
부속된 액세서리 플레이트를 부착하면 본 기기에 HVR-DR60 하드 디스크 저장 기기 또는 기타 액세서리를 장착할 수 있습니다.
그림과 같이 케이싱 S를 액세서리 플레이트에 나사로 고정합니다.

보관하기
비디오 카메라로부터 본 기기를 떼어내고, 케이싱, 암 및 패드를 접어서 전용 포우치에 보관합니다.
- 소프트 운반 케이스(LCS-G1BP)에는 본 기기를 비디오 카메라에 부착한 상태로 저장할 수도 있습니다.

주의
- 보관하기 전에 그림과 같이 가슴 패드 및 어깨 패드가 접힌 것을 확인해 주십시오. (그림 A-b)
- 암 S 및 암 C가 펼쳐진 경우에는 전용 포우치에 보관하기 전에 접어 주십시오.

주요 제원

최대 외형 치수	약 359 × 52 × 134 mm(w/h/d)
중량	약 840 g
비디오 카메라 및 장착할 액세서리의 총 중량	최대 4 kg
동봉품	캠코더 서포트(VCT-SP2BP)(1), 전용 포우치(1), 액세서리 플레이트(1), U14A 어댑터(1), U14B 어댑터(1), 나사(6), 도큐먼트 세트

디자인 및 주요 제원은 예고없이 변경할 경우가 있습니다.

عربي

الوحدة VCT-SP2BP هي وحدة دعم لكاميرا الفيديو مصممة للاستعمال بشكل خاص مع كاميرات الفيديو الرقمية HD من انتاج سوني Sony. (يشار إليها فيما بعد بالمصطلح «هذه الوحدة»)
يرجى قراءة تعليمات التشغيل هذه قبل الاستعمال. بعد القراءة، احتفظ بها بعناية للرجوع إليها في المستقبل.
* قد لا تتوائم هذه الوحدة مع جميع كاميرات الفيديو في بلدك أو منطقتك.

تنبيه
- توخى الحذر الشديد عند فتح واغلاق وسادة الكتف ووسادة الصدر والاطار S والاطار C. قد تتعرض أصابعك للاحتباس.
- لا تحمل هذه الوحدة عندما تكون كاميرا الفيديو مركبة عليها. قد تسقط كاميرا الفيديو، متسببة في حدوث تلف أو اصابة.

ملاحظات حول الاستعمال A
- لضبط هذه الوحدة، قم بتثبيت وسادة الكتف على كتفك وظهرك بإحكام وقم بتعديل الزاوية إلى أن يصبح المشاهدة في منظار الرؤية وشاشة LCD سهلة. (الشكل التوضيحي A-a)
  لا يتم دعم حمل الوزن إذا كانت وسادة الكتف طليقة.
- عند حمل كاميرا الفيديو بينما تكون مركبة على هذه الوحدة، تأكد من طي هذه الوحدة بشكل صحيح بحيث لا تكون متداخلة مع بعضها البعض كما مبين في الأشكال التوضيحية Ⓐ و Ⓑ. (الشكل التوضيحي A-b)
- عند استعمال هذه الوحدة، قم بتثبيت الجزء العريض المستوي من وسادة الصدر على صدرك بحيث تتوزع حمولة الوزن على صدرك.

المزايا الرئيسية
- تدعم كاميرا الفيديو اثناء التصوير من خلال توزيع حمولة الوزن على كتفك وظهرك وصدرك.
- ضبط هذه الوحدة يحافظ على كاميرا الفيديو في نقطة الرؤية الأمثل للتصوير ويقلل من اهتزاز الكاميرا.
- يمكن تثبيت كاميرا الفيديو على حامل ثلاثي الارجل عندما تكون هذه الوحدة مركبة.

اسماء الأجزاء B
1 وسادة الكتف
2 الذراع S
3 لسان القفل S
4 الاطار S
5 دبوس
6 قرص التحكم بالاحتكاك
7 الاطار C
8 مزلاج الفك RELEASE
9 لسان القفل C
10 الذراع C
11 وسادة الصدر
12 فتحة برغي الحامل ثلاثي الارجل
13 برغي تركيب الكاميرا
14 برغي الضبط المسبق

تركيب كاميرا الفيديو C
1. اسحب مزلاج الفك RELEASE بإتجاه السهم لفك تأمين هذه الوحدة وافتح الاطار C.
2. قم بمحاذاة دبوس هذه الوحدة مع فتحة الدبوس على كاميرا الفيديو.
3. قم بمحاذاة برغي الحامل ثلاثي الارجل على هذه الوحدة مع فتحة برغي الحامل ثلاثي الارجل على كاميرا الفيديو وشده.
   - برغي الحامل ثلاثي الارجل على هذه الوحدة هو برغي يمكن تدويره بعملة معدنية. شده باليد وقم بموائمة كاميرا الفيديو قبل شده بعملة معدنية.

استعمال هذه الوحدة للتصوير

اضبط موضع التصوير D
1. فك لسان القفل S واسحب الذراع S للخارج.
2. افتح وسادة الكتف وضعها على الجهة الخلفية من كتفك.
3. حدد موضع التصوير لكاميرا الفيديو واضبط الذراع S إلى الطول المرغوب. ومن ثم شد لسان القفل S.

   ملاحظات
   - تأكد من وضع الذراع S على كتفك ووسادة الكتف على ظهرك بإحكام.
   - تأكد منها أثناء المشاهدة الفعلية في منظار الرؤية وشاشة LCD.
   - لا يمكن ضبط موضع أو ارتفاع هذه الوحدة عندما تكون مثبتة عليها كاميرا الفيديو. في بعض أنواع كاميرا الفيديو، قد يصعب محاذاة ارتفاع منظار الرؤية مع مستوى خط عينك.
4. فك لسان القفل C واسحب الذراع C للخارج.
5. ارخي وسادة الصدر وضع الجزء العريض على الجهة الأمامية من جسدك.
6. اضبط طول الذراع C وزاوية الاطار C بحيث تكون كاميرا الفيديو افقية.
7. شد لسان القفل C.
8. شد قرص التحكم بالاحتكاك وذلك بتدويره بإتجاه حركة عقارب الساعة بحيث لا يسقط الذراع C.
   - إذا لم يتم دعم الوزن بشكل مناسب، أعد ضبط طول وزاوية الذراع S.
   - في حالة صعوبة الاستدارة والإمالة أثناء التصوير، قم بترخية قرص التحكم بالاحتكاك وحرك الاطار C للامام.

   ملاحظات
   - يقوم قرص التحكم بالاحتكاك بضبط الرخاوة عند فتح واغلاق الاطار S والاطار C. حتى لو شددت قرص التحكم بالاحتكاك، لا يمكن تثبيت زاوية فتح - اغلاق الاطار C.

تعديل الموضع المضبوط مسبقاً E
للحفاظ على الجاهزية للتصوير، يمكن تغيير الموضع المضبوط مسبقاً (موضع الحد الاقصى للسحب) للذراع S حسب الخطوات التالية.
1. قم بترخية برغي الضبط المسبق على الجهة الخلفية للاطار S.
2. اضبط وامسك الذراع S عند الطول المرغوب للضبط المسبق.
3. اسحب برغي الضبط المسبق نحو "MAX".
4. قم بضغط وسحب برغي الضبط المسبق نحو "MIN" إلى أن يتوقف، ومن ثم تثبيته.

   ملاحظات
   - ضع هذه الوحدة على سطح مستوي لضبطها. قد يصعب تعديل موضع الضبط المسبق بشكل صحيح إذا لم تكن هذه الوحدة مستوية.
   - قد لا تتمكن من ضبط موضع الضبط المسبق وفقاً لطول سحب الذراع S.

التركيب على حامل ثلاثي الارجل والتصوير F
1. قم بطي الاطار C ووسادة الكتف ووسادة الصدر.
   - إذا تداخلت وسادة الصدر ووسادة الكتف مع الاطار، لا يمكن تثبيت كاميرا الفيديو على قاعدة الكاميرا في الحامل ثلاثي الارجل بشكل مستوي.
2. قم بمحاذاة فتحة الدبوس على هذه الوحدة مع الدبوس على الحامل ثلاثي الارجل.
   - للتفاصيل، راجع تعليمات التشغيل الخاصة بالحامل ثلاثي الارجل.

تركيب المهايئ VCT-U14 G
موائمة المهايئات U14A و U14B المرفقة تتيح لك امكانية تركيب هذه الوحدة على مهايئ الحامل ثلاثي الارجل VCT-U14.
شد المهايئات U14A و U14B بواسطة براغي على الجهة السفلية لهذه الوحدة كما مبين في الشكل التوضيحي.
- عند تركيب مهايئ الحامل ثلاثي الارجل غير المهايئ VCT-U14، قم بإزالة المهايئات U14A و U14B.

موائمة الكماليات إلى هذه الوحدة H
القيام بموائمة لوحة الكمالية المرفقة يتيح لك امكانية تركيب وحدة تسجيل القرص الصلب HVR-DR60 أو كمالية أخرى على هذه الوحدة.
شد لوحة الكمالية إلى الاطار S بواسطة براغي كما مبين في الشكل التوضيحي.

التخزين
افصل هذه الوحدة من كاميرا الفيديو وقم بطي الاطارات والأذرع والوسادات وخزنها في كيس خاص.
- كما يمكن تخزين هذه الوحدة مثبتة بكاميرا الفيديو في علبة حمل لينة (LCS-G1BP).

ملاحظات
- تأكد من طي وسادة الصدر ووسادة الكتف كما مبين في الشكل التوضيحي قبل التخزين. (الشكل التوضيحي A-b)
- إذا تم تمديد الذراع S و C، قم بتقصيرهما قبل التخزين في الكيس الخاص.

المواصفات

الحد الاقصى للابعاد	359 × 52 × 134 مم تقريباً (عرض/ ارتفاع/ عمق)
الكتلة	840 جم تقريباً
الوزن الاجمالي لكاميرا الفيديو عندما تكون الكماليات مركبة عليها	حد أقصى 4 كجم
البنود المتضمنة	وحدة دعم لكاميرا الفيديو (VCT-SP2BP) (1)، كيس خاص (1)، لوحة الكمالية (1)، مهايئ U14A (1)، مهايئ U14B (1)، براغي (6)، طقم من وثائق مطبوعة

التصميم والمواصفات عرضة للتغيير دون إشعار.